

# AIビジネスを加速させるデル・テクノロジーの製品群

PowerEdge R760xaサーバーとPowerEdge XE9680サーバーは、混合精度のコンピューティングを可能にし、動的に演算を調整することで正確さを維持しながらスループットを実現するNVIDIA® TensorコアGPUを搭載。多くの計算処理を要求するさまざまなAI活用の場面で高速処理を実現。

## Dell PowerEdge R760xa サーバー

最大4基の350W GPU、または12基のシングルワイドGPUを搭載可能な、汎用性の高い2UのGPUサーバー



## Dell PowerScale ストレージ

Isilonの技術を継承し、世界で数々の受賞履歴を持つ、世界最高峰のスケールアウトNAS。容易な増設が可能なストレージ



## Dell PowerEdge XE9680 サーバー

最大8基のNVIDIA® H100 700W 80GB SXM5 GPUを6Uの筐体に搭載可能な高性能GPUサーバー



## Dell Precision ワークステーション

データサイエンティスト向けにインテリジェントな設計を実現した Dell Precisionワークステーション



## AIのユースケースは無限 –世界を変革する可能性–

医療/ライフサイエンス、金融サービス、政府、製造、小売、エネルギー、運輸、旅行とホスピタリティおよびテクノロジー業界に属するさまざまな企業が、AIを活用し、新しいイノベーションを生み出しています。これからも、多くの業種でAIの活用がさらに広がります。

<b>医療/ライフサイエンス</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>リアルタイムの患者データによるアラートと診断</li> <li>病気の特定とリスクの階層化</li> <li>患者のトリアージの最適化</li> <li>プロアクティブな健康管理</li> <li>医療機関のセンチメント分析</li> </ul>	<b>金融サービス</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>リスク分析および規制</li> <li>カスタマーの差別化</li> <li>クロスセルとアップセル</li> <li>セールスとマーケティングキャンペーン管理</li> <li>信用価値評価</li> </ul>	<b>政府</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>サイバー攻撃の侵入試行の検出、分析</li> <li>スマートパワー、耐障害性のための輸送設計</li> <li>テロリストの脅威の予測</li> <li>社会経済のトレンドと人口計画</li> </ul>	<b>製造</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>予測に基づく保守または状態の監視</li> <li>保証引当金の見積り</li> <li>購入に結び付く繁栄</li> <li>需要予測</li> <li>プロセスの最適化</li> </ul>
<b>小売</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>予測可能な在庫計画</li> <li>推奨エンジン</li> <li>アップセル、クロス チャネル マーケティング</li> <li>市場セグメントとターゲティング</li> <li>顧客のROIと生涯価値</li> </ul>	<b>エネルギー</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>電力の使用状況の分析</li> <li>地底探査データ処理</li> <li>二酸化炭素排出量</li> <li>顧客固有の価格</li> <li>エネルギーの需要と供給の最適化</li> </ul>	<b>運輸</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>車両衝突回避システム</li> <li>スマートなトラフィックルーティング</li> <li>最適な移動のための公共交通機関計画</li> <li>最適な経路を選び出す自律したスマートサービス/ビークルナビゲーション</li> </ul>	<b>旅行とホスピタリティ</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>航空機のスケジュール設定</li> <li>動的な適正価格設定</li> <li>ソーシャルメディアの利用者のフィードバックと対話の分析</li> <li>消費者からのクレームの解決</li> <li>交通量のパターンと渋滞管理</li> </ul>

Dell de AI に関するお問い合わせは、こちらまで >>> Mail : dell.de.ai@dell.com Dell de AI 特設サイトはこちら

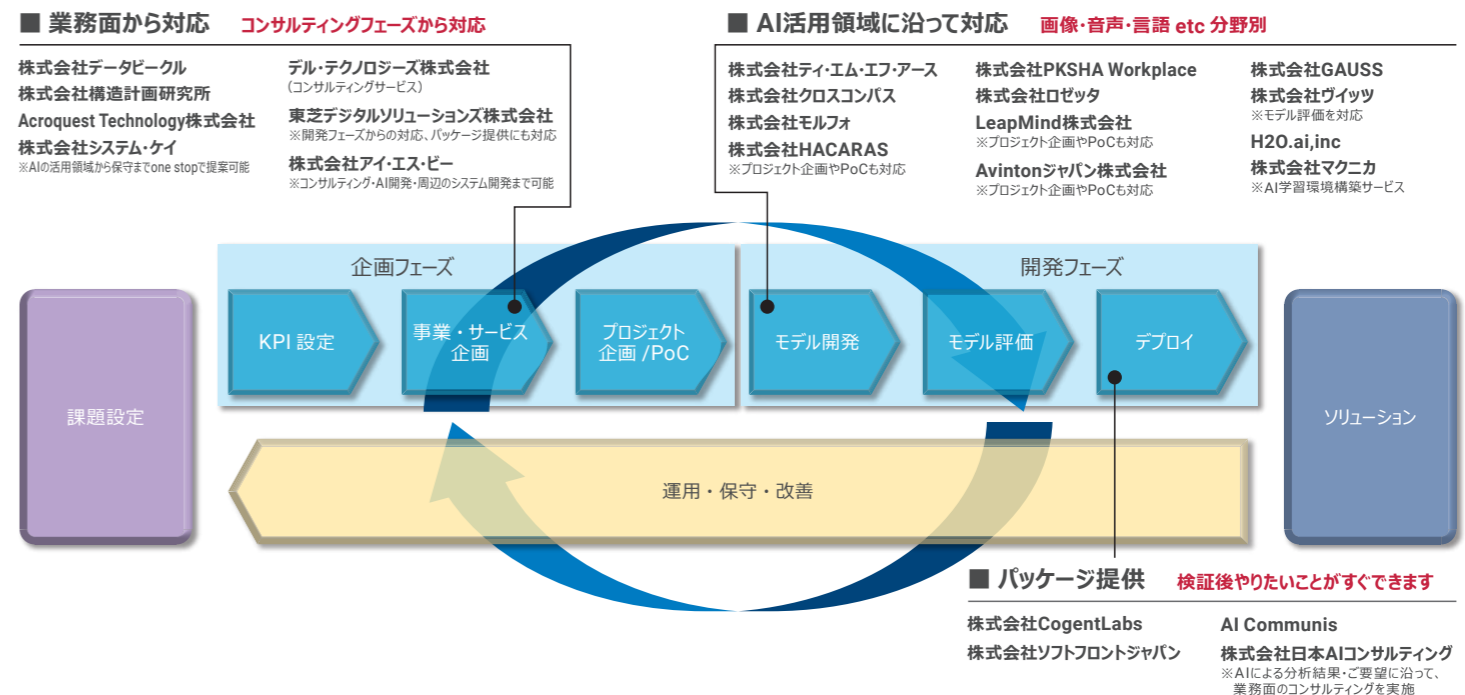
デル・テクノロジー株式会社 〒100-8159 東京都千代田区大手町一丁目2番1号 Otemachi Oneタワー17階  
●製品の購入には弊社の販売条件が適用されます。●製品写真の大きさは同比率ではありません。●本カタログに使用されている製品写真は、出荷時のものと一部異なる場合があります。●構成や仕様により、提供に制限がある場合があります。詳細は弊社営業にお問い合わせください。●システム構成により、提供に制限がある場合もございます。●Dell Technologies、及び Dell Technologies が提供する製品及びサービスにかかる商標は、米国 Dell Inc. 又はその関連会社の商標又は登録商標です。●その他の社名及び製品名は各社の商標または登録商標です。●製品の実際の色は、印刷の関係で異なる場合があります。●仕様は 2024 年 3 月 20 日現在のものであり、記載されている内容、外観（モーター含む）及び仕様は予告なく変更される場合があります。最新の仕様および価格については、弊社営業またはホームページにてご確認ください。Copyright © 2024 Dell Inc.、その関連会社。All Rights Reserved.

# Dell de AI “デル邂逅 (であい)” マスターハンドブック

Dell de AI (でるであい) とは、「AI をビジネスにとり入れたいけれど、どこに相談すればいいかわからない」というお客様の声から生まれた新しい取り組みです。  
邂逅 (かいこう) とは、「めぐりあわせ」を意味します。  
我々デル・テクノロジーは、Dell de AIを通して、世界をリードするAIのプロフェッショナル企業と、これからAIをビジネスにとり入れたい企業の「めぐりあわせ」を実現し、お客様のビジネスの発展をご支援します。

## Dell de AIパートナー × AI導入フェーズマッピング

AIの導入にあたって、まずは「課題を認識し、何を実現したいか」を決める必要があります。Dell de AIパートナー企業はAI導入のどのフェーズからもご支援ができる体制を整えています。



AIのビジネス活用を始める企業は、システム導入にあたって、課題認識から目標の設定、プランニングなどの企画フェーズから、モデル開発から実装までの開発フェーズでどのような製品やソリューションを採用するべきかを検討する必要があります。また、システムの運用や改善を定期的実施することで、AIモデルがさらなる進化を遂げ、ビジネスの課題を解決していきます。

<b>企画フェーズ</b> 課題に対して、解決策を検討し、どのようなAIモデルを用いようかを検討するフェーズです。開発しようとしているAIがどのように課題解決につながるかのKPIを設定し、結果としてどのような事業やサービスに展開すべきかを企画します。 次はPoC (Proof of Concept) へ移行します。PoCでは、活用するAIが技術的に実現可能かどうか実際に検証します。これによって事前に検討したAIのビジネス活用の実現可能性を見極め、期待した効果が得られるかを判断します。	<b>開発フェーズ</b> PoCでその実現性が確認できたら、最終的なモデルを開発します。ここでは、本番環境に必要な要件を定義し、開発を進め、AIのモデルを完成し、展開します。
<b>運用・保守・改善</b> AIのビジネス活用では、システムの安定稼働だけでなく、企画フェーズで設定したKPIの確認、改善を行い、PDCAサイクルを回していきます。 これらのフェーズにおいて、Dell de AIパートナー企業は、業務面からの支援、AI活用領域に沿った支援、パッケージ提供による支援を行っています。	



AIパートナー

1. 株式会社ティ・エム・エフ・アース 超高圧縮技術とAIでDXを加速
2. 株式会社データビークル ~拡張アナリティクスツール「dataDiver」~
3. 株式会社構造計画研究所 ~図面認識ソリューション~
4. 株式会社HACARUS ~過検出抑制・外観検査AIソリューション、デバイス試作機 for Edge AI~
5. 株式会社モルフォ ~スマートシティ向け画像解析・見まもりAIモデル~
6. 株式会社PKSHA Workplace ~スマートシティ向け画像解析・見まもりAIモデル~
7. 株式会社ロゼッタ ~AIによる多言語化ソリューションの提供~
8. LeapMind株式会社 ~超低消費電力AI推論アクセラレータIP「Effciera」~
9. 株式会社クロスコンパス ~異常検知/予知保全ツール「MANUFACIA」~
10. 株式会社Cogent Labs ~企業のDXを実現するIDPサービス「SmartRead」~
11. Acroquest Technology株式会社  
~産業界向け 物体検出AIソリューション「Torrentio Video」~
12. Avintonジャパン株式会社  
~データサイエンティスト・AIエンジニア派遣、エッジAIカメラ・ビッグデータプラットフォームの販売~
13. 株式会社GAUSS ~あらゆる現場の“眼”をDX「GAUDI EYE」~
14. 株式会社ソフトフロントジャパン ~自然会話AIプラットフォーム「commubo (コムボ)」~
15. 株式会社システム・ケイ ~AI・IoT連携が可能な映像管理プラットフォーム~
16. 株式会社グイツ ~AI搭載システムの品質安全保証サービス~
17. AI Communis Pte. Ltd 動画字幕編集サービスAuris (アウリス)
18. H2O.ai 全ての企業のAIの民主化を実現
19. 株式会社日本AIコンサルティング 業務ログ分析AI AKT
20. 東芝デジタルソリューションズ株式会社  
IoTデータをビジネス価値に変える東芝アナリティクスAI「SATLYS (サトリス)」
21. 株式会社アイ・エス・ビー ~“さまざまな事業領域のドメイン知識×AI”の新規ソリューション提案~
- 22-23. 株式会社マクニカ AI学習環境構築サービス、Run:ai Atlas Platform

特別企画 : AIパートナー追加AIソリューションのご紹介

24. 株式会社データビークル ~データプレパレーションツール「dataFerry」~
25. 株式会社構造計画研究所 ~建設分野でのAIを含めたデジタル技術活用コンサルティング~
26. 株式会社モルフォ ~スマートシティ向け画像解析AIモデル (交通測量AI) ~

デル・テクノロジーズ株式会社 (コンサルティングサービス)

- 27-29. AIのためのデータ活用サービスのご紹介
30. AIのためのデータレイク構築・運用支援サービス

AI Experience Zone (気軽に最新のAIソリューションが体験できる専門施設)

31. AI Experience Zoneのご紹介 (提供サービス・ユーザーボイス)
32. Dell Validated Design for Generative AI with NVIDIA
33. Dell Validated Design for AI

Dell de AIポータルサイト・セミナーアーカイブ (無料) のご案内

34. Dell de AIポータルサイトのご案内
35. AIビジネスを加速させるデル・テクノロジーズの製品群/AIのユースケースは無限

※2024年4月現在

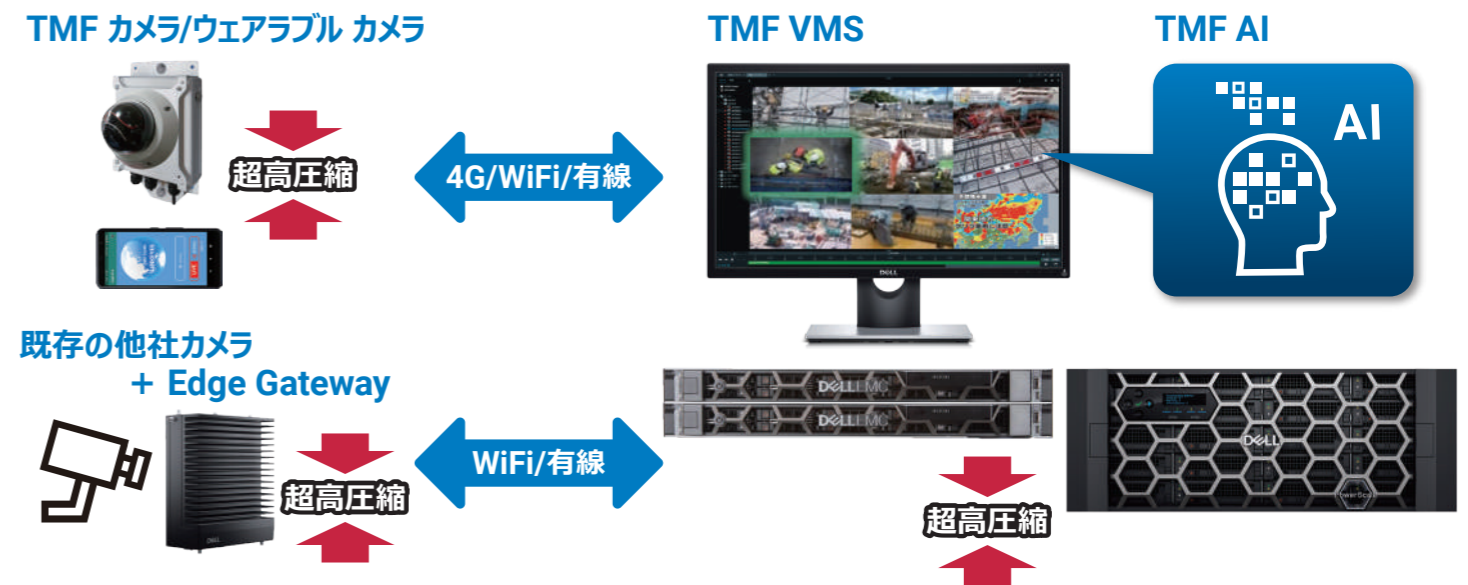
# 株式会社ティ・エム・エフ・アース

鮮明な動画と低帯域、低遅延と低コストを両立する  
画像圧縮技術



## 超高圧縮技術とAIでDXを加速 カメラ・VMS・AI統合ソリューション

邂逅 (de AI) ポイント!



### 映像データの増大と課題

監視カメラの高画質映像は、設備管理、安全管理、効率化、画像AI、DXなどにおいて不可欠な要素です。その一方で、画質の向上はデータ量の増大をもたらす、通信設備、回線、ストレージ等の費用増大という課題にもたらします。

### TMF Earthの革新的な圧縮技術

この問題を解決するため、TMF Earthは、オリジナルの画質を保ちつつデータサイズを1/10にまで圧縮する技術を開発しました。この革新的な技術により、通信やストレージの費用を大幅に削減することが可能となりました。

### 圧縮技術の実用化とAIの活用

TMFカメラは、4G回線でフルハイビジョン映像を0.5秒の遅延で送信可能です。これは、従来は不可能だった革新的な適用例です。また、TMF Earthは侵入検知や転倒検知、顔認証、メーター読み取りといった多岐にわたる高精度AIをVMSに統合し提供します。これらのAIはPoCも追加学習も不要で、今すぐに業務への適用可否を評価可能です。

### DX推進への挑戦

TMFカメラに加えて、Edgeにおける圧縮、VMSと連携した圧縮により既存のカメラ資産を有効活用することが可能です。技術的な制約や予算の問題でDXの推進に課題を抱えている企業の皆さまは、ぜひTMF Earthの革新的な画像活用ソリューションを検討ください。

お問合せ先

TEL : 03-5459-1801  
Mail : contact@tmf-e.com

TMF Earth

検索



## データサイエンスをみんなの手に。 株式会社データビークル

～高度な分析工程を自動化し課題解決に専念～



**DataVehicle**

邂逅 (de AI) ポイント!

### ～拡張アナリティクスツール「dataDiver」～

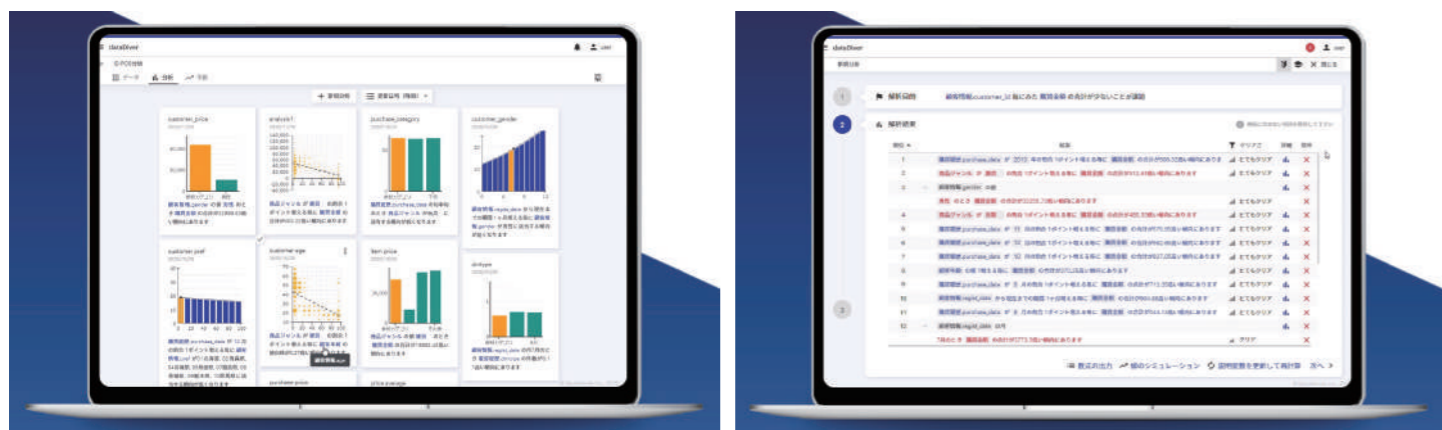
dataDiverは、データ分析工程の自動化はもちろん、データサイエンスを通じて課題を解決する拡張アナリティクスツールです。ビジネスに関わる全ての人が分析作業から解放され、課題解決に集中することができます。

具体的には、データ準備や分析の自動化、分析結果である洞察の可視化をノーコードで実現、データ分析に関わる一連の流れを自動化することにより、課題解決に向けて生産性の向上が期待できます。

また、「dataDiver」はデータをインポートするだけで自動的にデータ加工が行われ、データサイエンス業務にかかる負担を大幅に削減します。分析の実行は独自の技術で数秒から数十秒で完了。待ち時間はほとんどありません。

分析結果は自動で自然言語に変換するので、まるでデータサイエンティストが隣で説明してくれるようなわかりやすさで表示します。もちろん、分析結果の分布や予測精度の確認、シミュレーションの実行、外部システムとのAPI連携も可能です。

dataDiverは、AI構築自動化ソリューション（ビジネスデータ系）では、国内シェアNo.1のソリューションです。



データビークルは、2014年11月にデータサイエンスツール専門会社として設立、「データサイエンスの民主化」をキーワードに、プログラム知識なしで使えるデータサイエンスツールを開発、販売しています。

### 事業内容

- ビッグデータの取得、解析、分析に関する事業。
- IT マーケティングリサーチ・コンサルティング事業。
- ソフトウェア及びコンピューターシステムのインターネット及び通信回線を利用したコンテンツ等各種メディアの企画・制作・保守及び運営。企画、開発、販売、運用に関する事業。
- デジタルコンテンツの企画・立案、制作、配信及び販売。
- 前各号に附帯又は関連する一切の業務。

お問合せ先

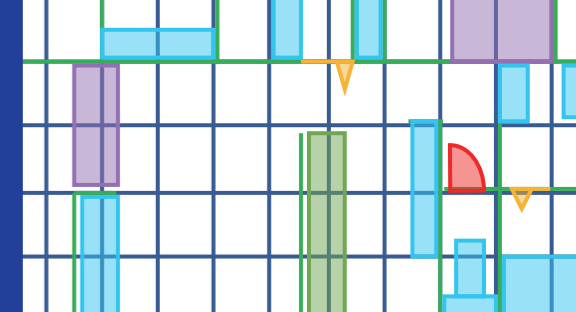
東京都港区東新橋2-9-1 CIRCLES 汐留 8F  
URL : <https://www.dtvcl.com/>  
TEL : 050-5358-5994 Mail : [info@dtvcl.com](mailto:info@dtvcl.com)

データビークル

検索

## Professional Design & Engineering Firm 株式会社構造計画研究所

PDFなどの図面から、壁や柱などの部材を認識し、部材の位置や数量を把握することで目視確認と積算の手間を低減



**構造計画研究所**  
KOZO KEIKAKU ENGINEERING Inc.

邂逅 (de AI) ポイント!

### 図面認識ソリューション

モノづくりの設計・製造段階では、目視による図面の部材チェックや建具の数量確認に莫大な時間を要し、手作業による人的ミスの削減が大きな課題になっています。

そこでお奨めしたいのが、弊社の「図面認識ソリューション」です。弊社の図面認識ソリューションは、今まで手作業で行っていた図面内の部材や建材の拾い出しを「半自動化」することで人的ミスを削減し、生産性を最大限向上させることができます。

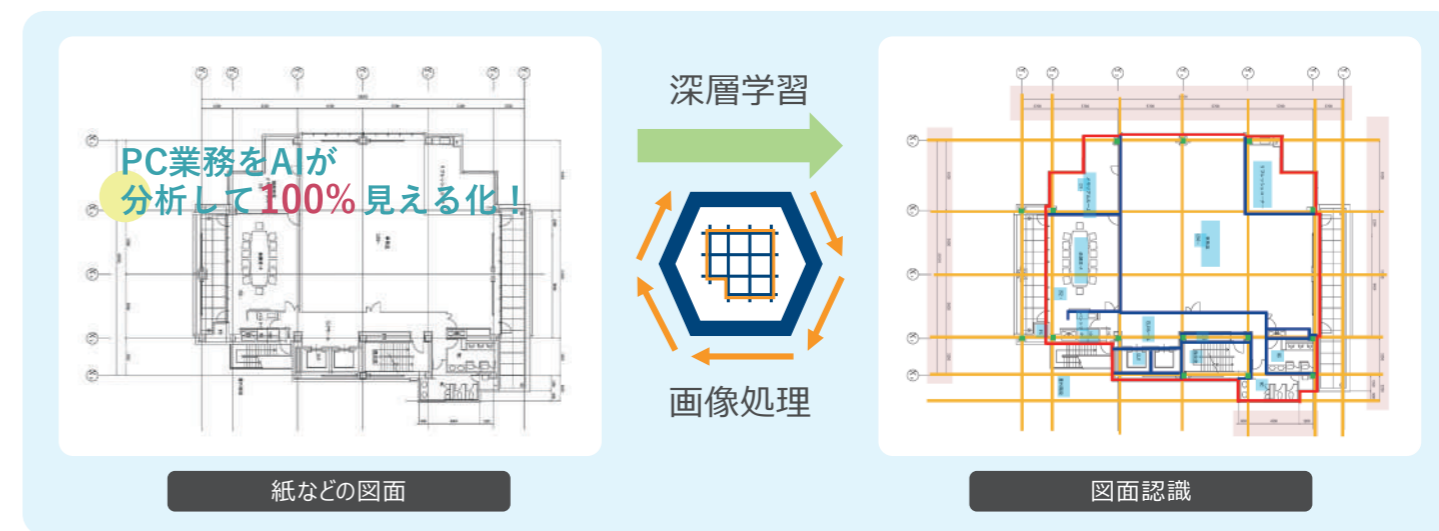
#### <ディープラーニング（深層学習）を採用>

図面認識ソリューションは、ディープラーニングを採用しており、図面から、「通り芯、壁、開口部、図面記号など」を認識することで部屋ごとの広さ、位置関係を自動で学習します。また、CADシステムと連携することで、作図や数量拾い業務の効率化を実現できます。

さらには、図面情報レベルを抽象化し、ゾーニングデータベースを構築することも可能です。

#### <活用例>

- 深層特徴量を用いた類似物件の検索
- 図面内の文字認識による情報抽出とチェック
- 躯体数量・工事費予測モデルへの応用



図面認識以外にも、建設業の業務の中で取り扱う様々な情報（企画、設計、施工、品質検査、維持管理等）について、分析手法の検討を含め、業務での効果的な活用に向けた取り組みを行っています。まずはお気軽にご相談ください。

1956年に建物の構造設計業務からスタートした構造計画研究所は、時代ごとに発生したさまざまな社会課題をエンジニアリング（技術）で解決し、事業を展開してまいりました。大学、研究機関と実業界をブリッジするデザイン&エンジニアリング企業として、社会のあらゆる問題を解決し、「次世代の社会構築・制度設計」の促進に貢献します。工学知をベースにした有益な技術を社会に普及させることで、より賢慮にみちた未来社会をステークホルダーの皆様と共に創出していきたいと考えています。

お問合せ先

東京都中野区本町4丁目38番13号 日本ホルスタイン会館内  
URL : <https://www.kke.co.jp/>  
Mail : [kenichi-honda@kke.co.jp](mailto:kenichi-honda@kke.co.jp)

KKE

検索

少ないデータで使えるAI

## 株式会社HACARUS

少量データで高精度、低消費電力・CPU環境で対応可  
新規事業・AI開発支援からデバイス試作まで一貫対応

少ないデータで、使えるAI



## 邂逅 (de AI) ポイント!

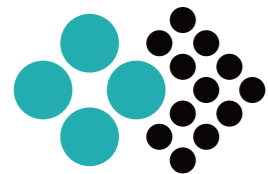
## 過検出抑制・外観検査AIソリューション

従来企業は、対象物の外観検査や目視検査を手作業で行っており、大きな負荷がかかっていました。HACARUSが提供する独自AIは、この負荷を1/2から1/3に低減します。これにより、現状の検査人員を増やすことなく、事業拡大に貢献します。

導入に際し高性能なPCは不要、お持ちのPCも利用できるため、初期導入コストを抑えることが可能です。また、弊社の独自AIは、ワークごとにAIモデルを作る必要がないため、将来的な製品増にもスムーズに対応でき、メンテナンスも容易です。

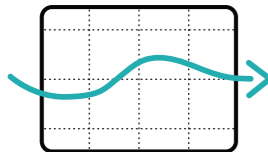
## デバイス試作サービス for Edge AI

現在多くの企業では、汎用デバイス・ハードウェアの開発を検討する際、費用面、特殊データの取得環境などの制約からAIの実装が難しい場合があります。HACARUSは、画像/温度/湿度/音/振動などのさまざまなデータ取得から既存システムとの連携まで「一貫したスムーズなAIの導入」をご支援します。また、エッジAI用ハードウェアのプロトタイプやダッシュボードなどの収集データの可視化の仕組みを、連携するAIシステムとともにご提供します。



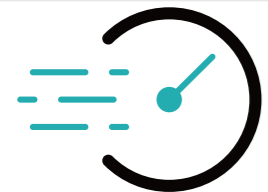
POINT

ビッグデータ不要



POINT

「その結論に至った理由」が解釈できる



POINT

高速かつ低消費電力

人工知能を使ったデータ解析サービスを提供する、京都発AIスタートアップであるHACARUSは、「人と共生する知能」を目指し、ディープラーニングとは異なる手法【スパースモデリング】を採用することで「軽量」「安全」「人間が理解可能」なソリューションを提供しています。国内外の製造業やインフラ業界等のユーザー様、医療・ヘルスケア分野のユーザー様へ「現場で使える」AIを導入し、各々の課題解決に貢献しています。

AIカウンセリングについては無料ですので、まずはお気軽にご相談ください。

お問合せ先

京都市中京区蛸薬師通烏丸西入ル橋弁慶町227 第12長谷ビル5階A室  
URL : <https://hacarus.com/ja/>  
TEL : 050-3749-6864 Mail : [sales@hacarus.com](mailto:sales@hacarus.com)

ハカルス

検索

イメージングAIで、世界をもっと豊かに

## 株式会社モルフォ

白杖・車いす・倒れた人を発見、スマートシティの安心・安全を



\*モルフォ、Morphoおよびモルフォロゴは株式会社モルフォの登録商標または商標です。

## 邂逅 (de AI) ポイント!

## スマートシティ向け画像解析・見まもりAIモデル

スマートシティの実現において住民にフォーカスを当てていく中で、困っている人や介助が必要な人を速やかに見つけ対応する等の人々が安心して暮らせる街づくりのニーズが高まっています。

モルフォの「スマートシティ向け画像解析・見まもりAIモデル」は、監視カメラ映像から、白杖で歩く人、車いすの人、うずくまったり倒れている人等の介助が必要な人を検出するAIモデルです。

本AIモデルは、サーバー、クラウド、エッジなどの環境においても軽快に動作します。また、API連携により、サードパーティー製の警報・運用システムの機能拡張が可能のため、よりトータルな見まもりAIソリューションとして、導入が可能になります。

市街地、ショッピングモール、交通等の公共施設、介護関連施設、などを見まもり、安心・安全な環境づくりに貢献します。



車椅子の方を認識



倒れている方を認識

2004年に創業したモルフォは、イメージング・テクノロジーの研究開発型企業として、画像処理およびAI（人工知能）技術の研究・製品開発を行っています。スマートフォン、半導体、車載、産業IoT、スマートシティ向けにソフトウェア事業をグローバルに展開し、利便性・安心安全・生産性の向上に貢献しています。これからも、革新的なイメージング・テクノロジーを創造する集団として、イメージングAIの可能性に挑み続けます。

お問合せ先

東京都千代田区西神田3丁目8番1号 千代田ファーストビル東館12階  
URL : <https://www.morphoinc.com/>  
Mail : [m-info-sales@morphoinc.com](mailto:m-info-sales@morphoinc.com)

モルフォ

検索



# 株式会社PKSHA Workplace

## PKSHA AI ヘルプデスク for MS Teams



### PKSHA WORKPLACE

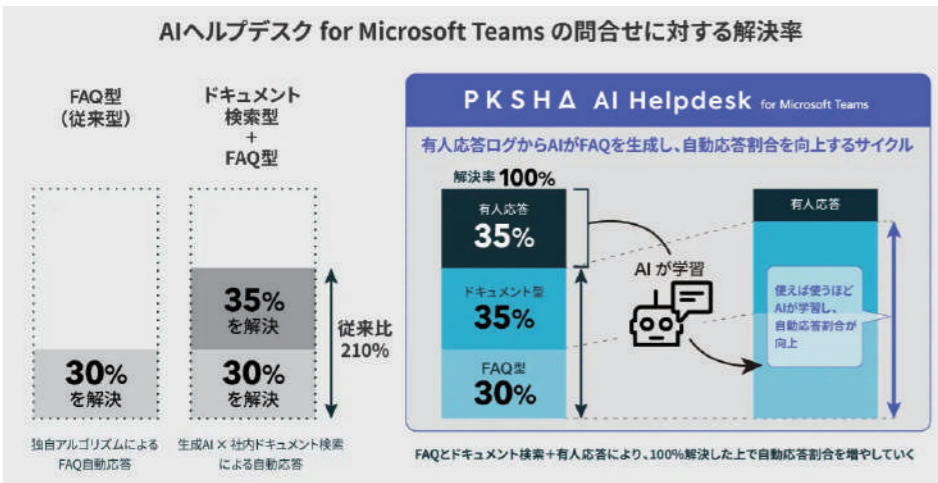
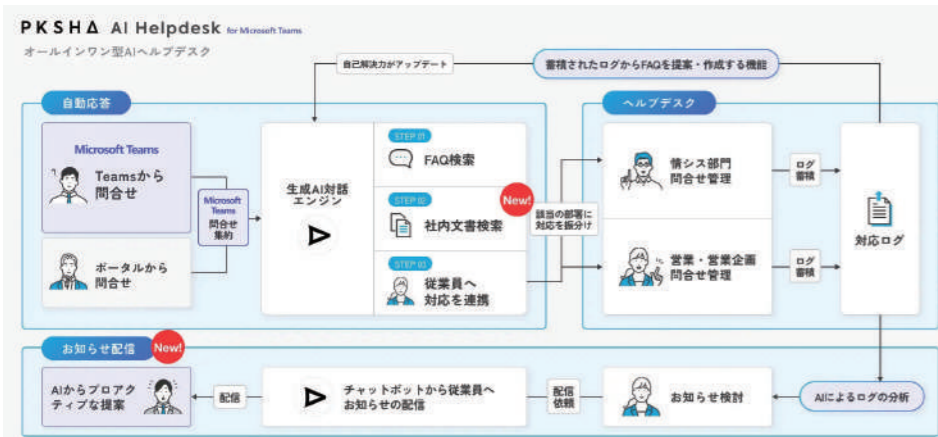
### Teamsで実現するAIヘルプデスク

#### 社内文書とFAQの有効活用で、問い合わせ業務の6割はAIに

### 邂逅 (de AI) ポイント!

AIチャットボット搭載の社内ヘルプデスク環境をMicrosoft Teams上で実現。

社内問い合わせに対応するバックオフィス部門、商品および技術情報の問合せに対応する各サポート部門の各種問い合わせ業務を、社内文書の有効活用で、生産性を向上させる。



「AI Powered Future Work: 社員の知恵と繋がりを企業の力に」を事業ビジョンに掲げ、未来の働き方を実現するAI SaaS製品を開発・提供を行っています。企業内のナレッジマネジメントとコミュニケーションの高度化を実現します。製品や顧客の価値の最大化にダイレクトに繋がる職場環境を目指して、AIというテクノロジーが溶け込み、社員同士、あるいは社員とソフトウェアの共進化を促進するワークスタイルを支援いたします。

お問合せ先

TEL : 03-6801-6718  
Mail : bedore-wp-marketing@pkshatech.com

パークシャ ワークプレイス

# エッジAIのスタンダードを創る 株式会社ロゼッタ

## ～AIによる多言語化ソリューションの提供～



### 邂逅 (de AI) ポイント!

#### 言語の課題をセキュアな環境で解決、 時間・コストの圧倒的優位性でグローバルビジネスを加速

超絶カスタマイズAI翻訳 T-3MT



会議音声翻訳ツール オンヤク



プロ翻訳者レベルのAI自動翻訳 T-400



専門文書ファイルを簡単翻訳 The Reading



医療の国際化支援システム T-4PO Medicare



多機能ハンズフリーシステム T-4PO Construction



ロゼッタは、「我が国を言語的ハンディキャップの呪縛から解放する」という企業ミッションの下、AI自動翻訳の開発・運営を行っています。ロゼッタの自動翻訳は国内外5000以上の企業・団体に導入されており、医薬、製薬、ライフサイエンス、バイオベンチャー、省庁、国立研究所、大学、病院、化学、環境、エネルギー、石油、食品、飲料、農林水産、土木・建設、法務、法律事務所、特許事務所、金融、IT、通信、半導体、産業機械、電気機器、精密機器など様々な分野でご活用いただいています。

AI言語処理のリーディングカンパニー、ロゼッタは、その卓越したテクノロジーと言語やローカライズに関する豊富なノウハウで、企業の課題に応じたランゲージソリューションを提供します。

多言語展開が求められるカタログ・取扱説明書・Webサイトなどには、文章スタイルも学習する高精度カスタマイズAI翻訳『T-3MT』でローカライズコスト/改定や変更の手間を劇的に削減。外国人を含む会議や商談には、音声を高精度に認識しテキスト化、瞬時に翻訳まで行う『オンヤク』が、生産性とコミュニケーションの質を向上。

また、AI活用に欠かせないビッグデータ蓄積ノウハウのコンサルティングを通じてお客様のDX推進を支えます。

お問合せ先

東京都千代田区神田神保町3-7-1 ニュー九段ビル  
URL : <https://www.rozetta.jp/>  
TEL : 0120-105-891 Mail : marketing@rozetta.jp

ロゼッタ



エッジAIのスタンダードを創る

## LeapMind株式会社

CNNの推論演算処理に特化した  
超低消費電力AI推論アクセラレータIP Efficiera®

邂逅 (de AI) ポイント!

## 超低消費電力AI推論アクセラレータIP

## 「Efficiera」

「Efficiera」は、FPGAデバイス上もしくはASICデバイス上の回路として動作する、CNNの推論演算処理に特化した超低消費電力AI推論アクセラレータIPです。LeapMindの極小量子化技術を用いることで、優れた電力効率・面積効率を実現、AI搭載製品の省電力化・低コスト化に貢献し、エッジAI搭載製品の迅速な市場投入を可能にします。

「Efficiera」は、建設機械などの産業機器、監視カメラ、放送機器をはじめ、さまざまなエッジデバイスヘドパーニング機能を組み込むことができます。

## 省電力

データを表現するためのビット数を最小化することで、データの移動とコンポリューション演算に要する電力を削減します。

## 高性能

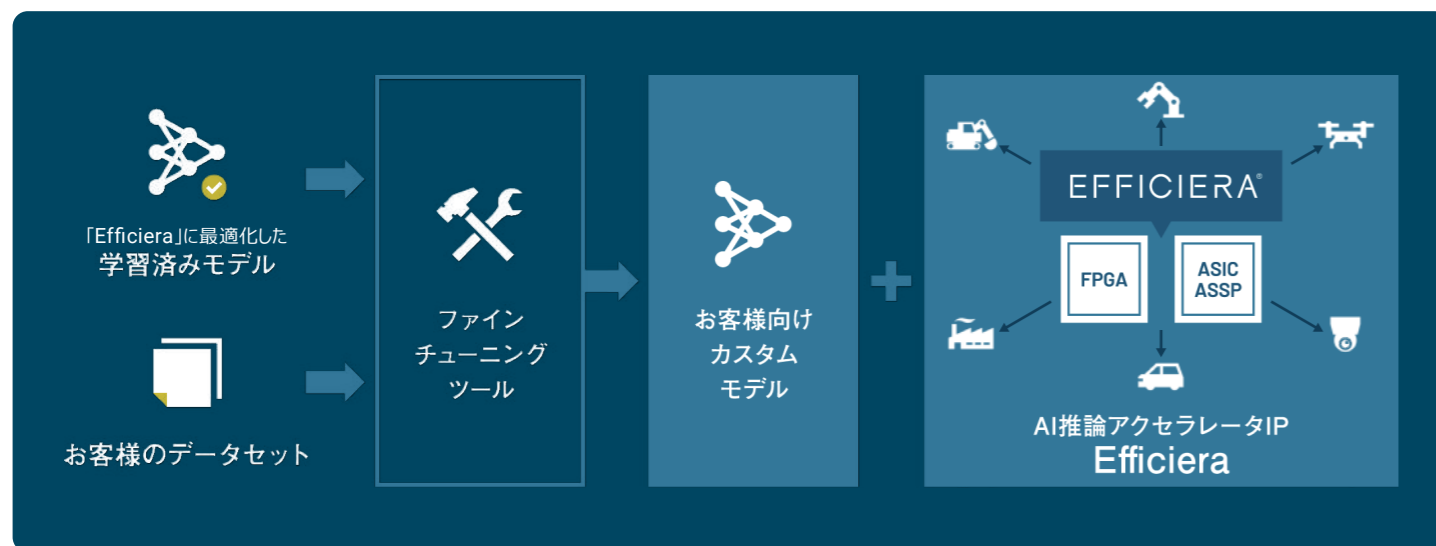
演算ロジックの最小化により演算に必要なクロックサイクル数も削減でき、面積・周波数あたりの演算性能を向上させます。

## 省面積

演算ビット数を最小化することにより、演算器1個あたりの回路面積とSRAMサイズを最小化します。

## 性能拡張性

回路構成の選択により演算性能を調整できるため、お客様の実施したいタスクに合わせて、コンフィギュレーションを最適化し、「Efficiera」の性能を向上させることが可能です。



2012年に創業したLeapMindは、「機械学習を使った新たなデバイスを、あまねく世に広める」を企業理念に、ディープラーニングをコンパクト化する極小量子化技術に強みを持ち、コンシューマエレクトロニクスや自動車産業など製造業中心に、150社を超える採用実績があります。また、次世代の情報端末を実現するためのキーテクノロジーを提供するために、その実現に必要なソフトウェアとハードウェア両面の開発に取り組んでいます。

お問合せ先

東京都渋谷区円山町28-1 渋谷道玄坂スカイビル 3F  
URL : <https://leapmind.io/>  
TEL : 03-6696-6267 Mail : [business@leapmind.io](mailto:business@leapmind.io)

LeapMind

検索

AIをもっと身近に

## 株式会社クロスコンパス

製造現場で収集される、画像・振動・時系列データを用いて、異常検知・予知保全を行うAIを生成し、生産性を高める



XC Cross Compass

邂逅 (de AI) ポイント!

## MANUFACIA

異常検知/予知保全に適用したツールです。製造現場の熟練者の日頃のカン、コツをツールに搭載し、異常検知や予知保全が可能です。

## 特徴

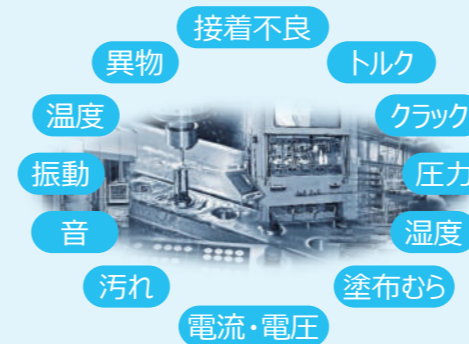
- 製造業に特化した、直感GUIのAI開発ツール
- 製造現場のノウハウを、AI開発ツールに結集
- 製造現場の改善アイデアを、かんたんに、短時間で具現化

## 適用事例

製造現場の異常プロセスや製品の欠陥を検出

- ・ 温度変化パターンで異常プロセスを検知
- ・ プラントの配管の圧力変化で異常を検知
- ・ 検査工程における、異音検査、外観検査、異物検査、属人的な官能検査のデジタル化など
- 予知保全 : 日々の設備稼働状態をモニタリングし、故障や不具合の予兆を検知
  - ・ 設備の振動による故障予測
  - ・ 電力や電流の変動パターンの変化によるメンテナンス予測
  - ・ 製造機器の温度変化の異常による不具合予測
  - ・ 中間工程の品質観測による製造品質劣化の予測など

## データ化された製造業の課題



製造業で収集される三大データをMANUFACIAひとつでカバー  
機能限定版であるMANUFACIA-CPUを提供開始。導入もより“かんたん”に。

2015年に設立されたクロスコンパスは、深層学習・機械学習を用いたAI技術を提供しています。AIの開発や技術コンサルティングを数多く実施し、主に製造業分野のお客様の課題を解決。さまざまな課題を解決するだけでなく、それらの産業が作り出す製品を利用する人々、社会で暮らす全ての人に寄り添い、豊かな暮らしに貢献できる企業でありたいと思います。

お問合せ先

東京都中央区築地2-7-3 CAMEL TSUKIJI II 3F  
URL : <https://www.cross-compass.com/>  
TEL : 03-6380-9729 Mail : [manufaciasupport@cross-compass.com](mailto:manufaciasupport@cross-compass.com)

クロスコンパス

検索

IDP (Intelligent Document Processing) でDXの推進を実現

## 株式会社Cogent Labs

～最先端のAIでドキュメント処理を自動化を推進～



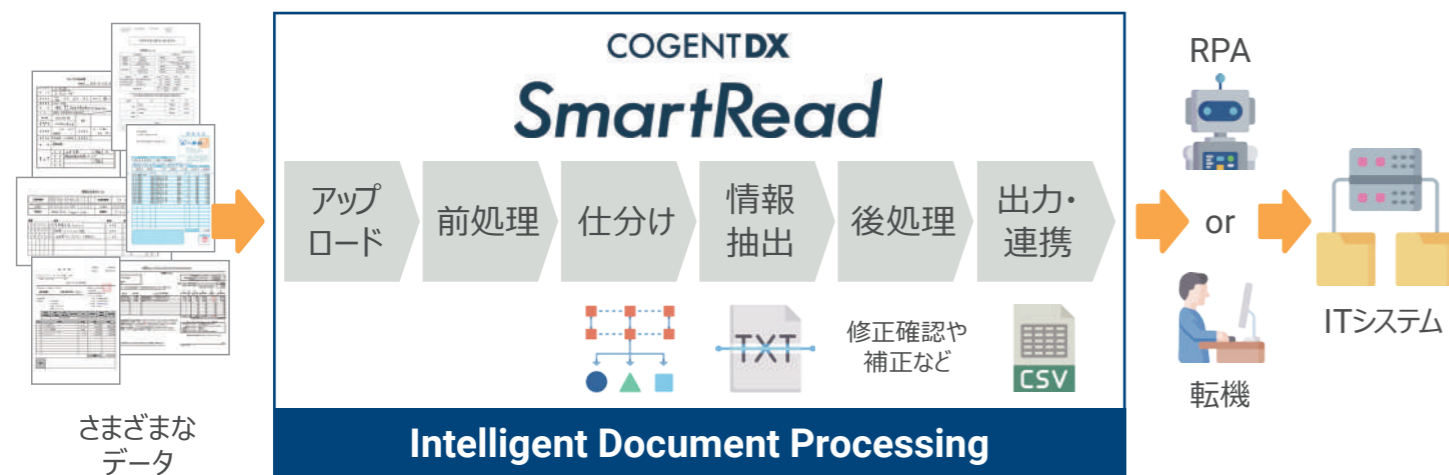
### 邂逅 (de AI) ポイント!

#### 企業のDXを実現するIDPサービス「SmartRead」

働き方改革でペーパーレス化は進みますが、企業間のやりとりで生まれるドキュメントは今後も増え続け、企業活動で重要な役割を担うでしょう。そして増え続けるドキュメントの処理を人手ではなく自動化させることで、企業の生産性を大幅に向上させることができます。

Cogent LabsのIDPサービス「SmartRead」は、最先端のAIで様々なドキュメントから素早く正確に情報の抽出とデータ化を行い、ドキュメント処理の効率化を実現します。

#### 「SmartRead」を活用したドキュメント処理の流れ



#### 「SmartRead」の特長

- 特長 1：独自開発のAIによる高い文字認識・文書仕分け精度
- 特長 2：様々なタイプのドキュメントから情報抽出を実現
- 特長 3：使い勝手の良いユーザーインターフェース・管理機能の強化

Cogent Labsは、クラウドからエッジまで、最先端でありながら実用的なAIのサービス開発・提供を通じ、知的労働のDXを実現する企業です。職場における生産性の向上や、熟練労働力不足という課題を、AIによる製品とサービスの提供を通じてサポートします。

お問合せ先

東京都港区六本木3-2-1 住友不動産六本木グランドタワー 36F  
 URL : <https://www.cogent.co.jp/>  
 TEL : 03-6773-1836 Mail : [contact@cogent.co.jp](mailto:contact@cogent.co.jp)

SmartRead

検索

## Acroquest Technology株式会社

画像・映像解析による産業向け

物体検出AIソリューション『Torrentio Video』



特定の物体検出や異常検知により、人の“目”の代わりを実現し、業務の自動化・効率化を実現します

### 邂逅 (de AI) ポイント!



市販のネットワークカメラを利用して、特定の物や状態を検出



データ分析の有識者なしで、素早く、手軽に導入



エッジ処理で、高速な画像・動画解析を実現

#### 様々なユースケースでの利用実績



##### 物体検知

- 1) 製造ラインでの特定の製品の検出
- 2) 車載カメラによる工事中箇所の検知



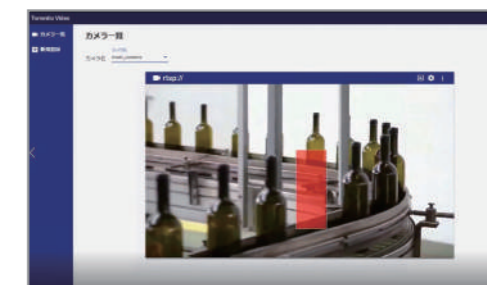
##### 異常検知

- 1) 製造ラインでの不良品・欠損製品の検出
- 2) 鉄製品におけるサビ、ヒビの検知



##### 状況検知

- 1) 製造ラインの搬送抜けの検知
- 2) 特定エリアへの立ち入り検知



Acroquestは、働きがいのある会社日本1位を3度受賞した「全社員で給与まで決める」オープンな社風が特徴のITベンチャーです。「テクノロジストチームとしてビジネスの革新的価値創出に挑戦する」をビジョンとし、以下の事業を展開しております。

- IoTデータ分析プラットフォーム「Torrentio」 <https://www.site.torrentio.tech/torrentio/>
- 競争上の優位性を築く、ITビジネスソリューション「ENdoSnipe」 <https://www.endosnipe.com/>

お問合せ先

TEL : 045-467-3171  
 Mail : [torrentio\\_support@acroquest.co.jp](mailto:torrentio_support@acroquest.co.jp)

アクロクエストテクノロジー

検索



# Avintonジャパン株式会社

データサイエンティスト・AIエンジニア派遣  
エッジAIカメラ・ビッグデータプラットフォームの販売



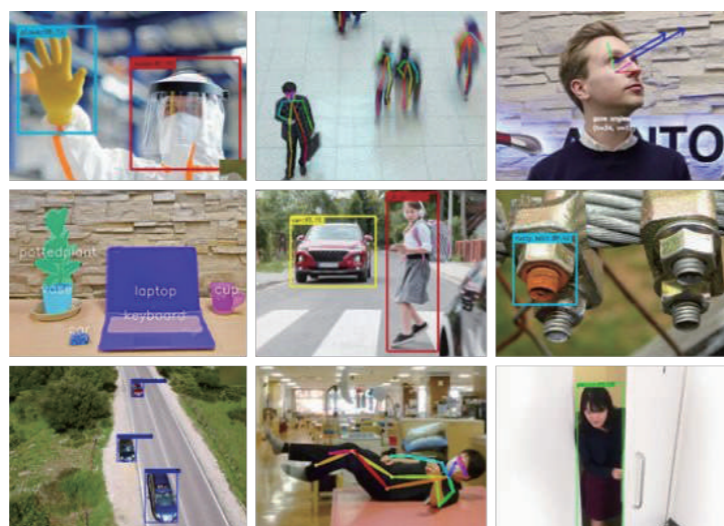
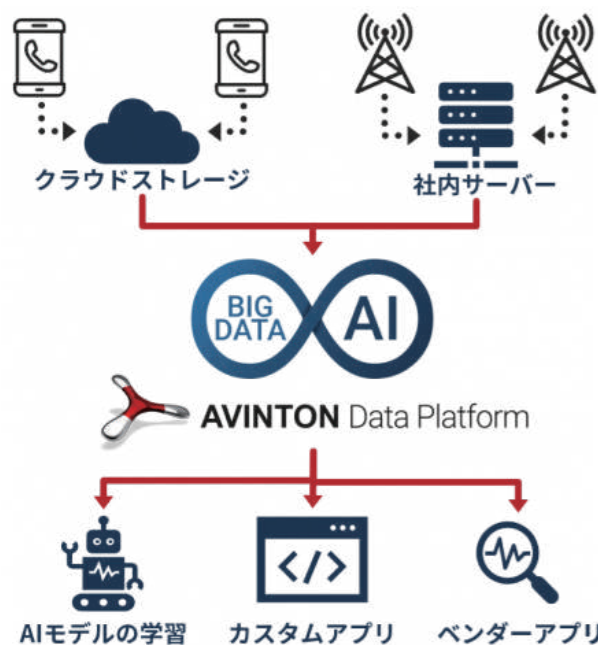
- 1. 100名以上の弊社エンジニア社員が御社のAI導入 ~ データプラットフォーム開発をご支援
- 2. 最新技術と拡張性の高いソリューションで御社のDXを加速

安価なサーバーでも、1つのクラスターに集約することで、高い計算能力とストレージ容量、拡張性を実現。  
数TBのビッグデータ分析処理や、GPUを複数個要求するような機械学習も、短時間・高パフォーマンスで処理が可能。

## 邂逅 (de AI) ポイント!

### Avintonデータプラットフォーム

Kubernetes技術でクラスターを構成し、クラウドネイティブなアプリケーションやフレームワークを使用。拡張容易なオンプレミス環境で、機械学習やビッグデータ分析を効率よく実行可能。



### エッジコンピューティング × AI × 機械学習

エッジAIカメラでは、ローカルPC上でリアルタイムに画像処理、AI推論が可能、かつ業界を問わずお客様の要望にあわせてカスタマイズが可能です。また、カメラやMini PC等のハードウェア構成も、弊社がお客様の要望にあわせて選定します。私たちAvintonジャパンは、製造現場の効率と安全性の向上から、マーケティング活動への活用まで、お客様個々の要件を確認し、適切なAIモデルをご提供します。



### データサイエンティスト、AIエンジニア、システムエンジニア、プロジェクトマネージャ派遣

御社の要件に応じて、エンジニアを1名から派遣することが可能です。Avintonジャパン正社員のエンジニアが御社のプロジェクトメンバーご担当者様と協力してシステム開発案件やDX支援を成功に導きます。

お問合せ先

TEL : 045-620-4117  
Mail : sales@avinton.com

Avinton  🔍 検索

# 株式会社GAUSS

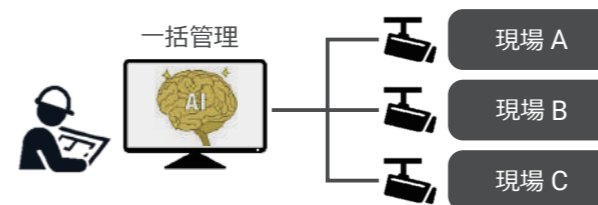
GAUDIYE  
~ あらゆる現場の“眼”をDX ~



AIカメラで誰でも簡単に現場を「見える化」し、  
遠隔AI監督によって現場の「安全性向上」と「生産性向上」を実現します

## 邂逅 (de AI) ポイント!

### 省人化 × 生産性向上



### 人手不足による生産性の低迷

💡 人手不足は**省人化**で運用できる  
仕組みを構築する事で解消できます!

- 監督者が複数現場を常に管理できるリモート環境の仕組みを構築
- 遠隔からでも作業進捗を確認できる進捗確認AI
- 若年層の成長速度を更に向上させる教育サポートAI

### AI × 労災防止対策



### 後を絶たない死傷事故の労働災害

💡 労働災害は**見守りAI**が  
監督者の**目**になる事で抑制できます!

- 危険エリア進入を検知し、作業員の安全を守るAIカメラ
- ヘルメット装着の有無を検知しアラートする服装チェックAI
- 高所作業を検知し、正しく安全に実施できているかを見守るAI

### AI × DX



### i-Constructionを進めるハードルが高い

💡 **GAUSS AI DX Team**がお客様と  
共にi-Constructionを推進します!

- 企画・アイデア出しの段階から参画し、業務課題から改革
- 一社一社に合う最適なAI活用DX提案を実施
- 開発後のAI運用も支援

株式会社GAUSSは、AIを活用して社会に新しい価値を創造していく会社です。現在はAIの汎化を目指し、次世代AIプラットフォームの開発と提供を行っております。2017年創業のスタートアップ企業ですが人工知能学会やJDLAに正会員として参画し、数々の新規サービスを提供してきました。日本を代表するAI企業となり、新しい価値を創り続けることが私達の使命です。

お問合せ先

TEL : 03-5784-3953  
Mail : info@gauss-ai.jp

GAUSS  🔍 検索



# 株式会社ソフトフロントジャパン

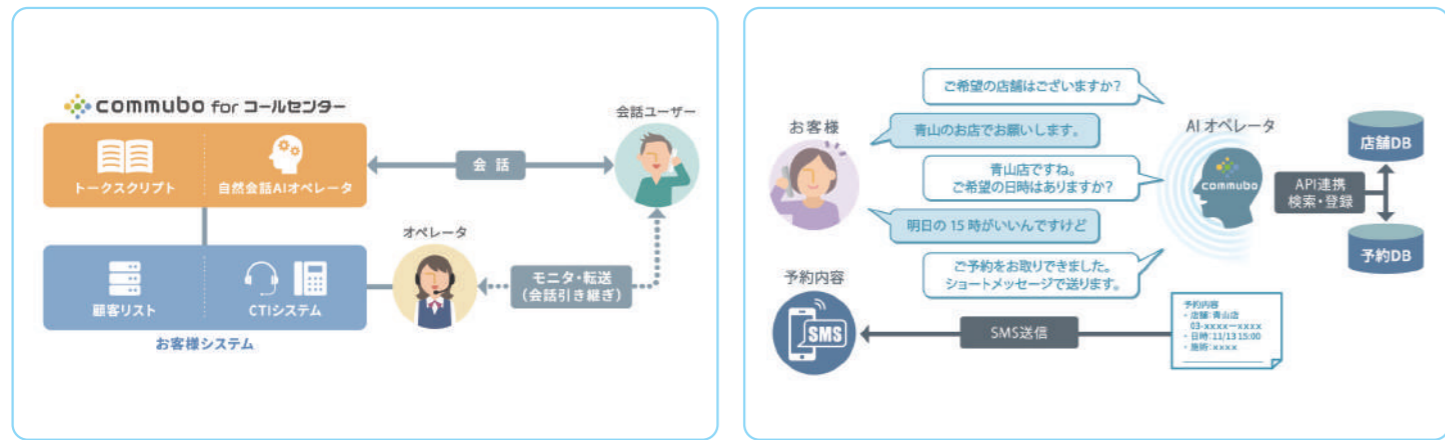
自然会話AIプラットフォーム  
commubo (コミュボ)



AIオペレーターが劇的な業務コスト削減と飛躍的な生産性向上を実現

## 邂逅 (de AI) ポイント!

### コールセンターでのAIオペレータ化を実現するパッケージシステム



commubo (コミュボ) は、「聞く」「考える」「話す」の各処理と、会話の目的に沿って継続的に会話する「自然会話AI機能」を一つにまとめた「自然会話AIプラットフォーム」です。  
高精度のボイスボットが、受付や督促などのコールセンター業務の自動化を実現します。

#### commubo (コミュボ) 4つの特長

- 1. 高い認識率となめらかな音声
- 2. 変動する呼量にあわせてコストを最適化
- 3. 既存システムとのシームレスな連携
- 4. 充実したツールによる運用のしやすさ

ソフトフロントジャパンは、ソフトフロントホールディングスの子会社として2016年8月の発足以来、表現力豊かにつながる・伝わるコミュニケーションプラットフォームとして、通話・ビデオチャット・メッセージによるリアルタイム・コミュニケーションを中心とした各種製品やサービスを提供しています。  
最近では永年培ってきた音声伝送技術を元に、AIや自動化技術も取り入れ、電話業務を自動化するクラウドテレフォニーサービスプラットフォーム「telmee」(テルミー) や、自然会話AIプラットフォーム「commubo」(コミュボ) を展開し、様々な事業領域で新しいコミュニケーションビジネスを創出しています。

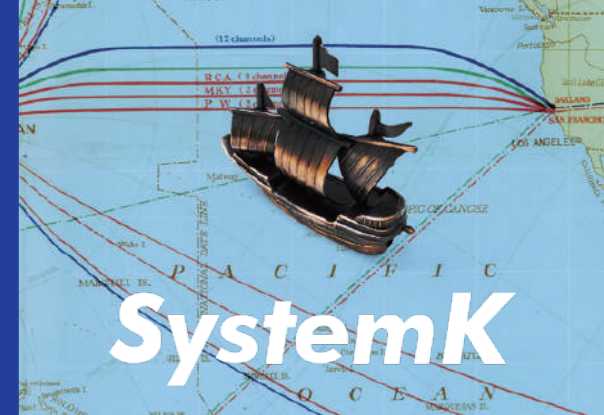
お問合せ先

TEL : 03-6550-9930  
Mail : sales@softfront-japan.co.jp

ソフトフロントジャパン

# 株式会社システム・ケイ

AI・IoT連携が可能な映像管理プラットフォーム



顔認証・人数カウント・車両ナンバー認識等、各種AIカメラと連携が可能な統合管理ソフトウェアプラットフォームです。  
画像認識AIの本番業務への適応に最適な環境をご提供します。

## 邂逅 (de AI) ポイント!



**1、大規模カメラシステムが構築可能**  
VMSとは、Video Management Systemの略称です。ネットワークカメラ (IPカメラ) などからのライブ映像を検出・設定・録画・検索・共有するソフトウェアプラットフォームの提供です。AIやIoT機器とも容易に連携可能で、カメラ数千台規模の大規模システムを構築できる拡張性を備えています。

**2、既設カメラをAIカメラに拡張可能**  
SKVMS+AI画像認識連動システムは、当社のネットワークカメラ管理システム「SKVMS」にAI画像認識機能を組み込んだシステムです。  
顔認証・車両ナンバー認識・人数カウント等のAI機能をサーバー上で一括管理し、AIやIoTセンサーを連携させることで、ネットワークカメラの映像管理システム (映像閲覧、録画、検索など) とAI画像認識がシームレスに連動し、解析結果をリアルタイムに表現することができます。

#### 事業内容

- 1. 受託システム開発事業
- 2. ネットワークカメラ事業
- 3. インターネット関連パッケージ事業

映像を活用したAI案件・SI案件における上流から下流までワンストップ対応。カメラ・製品の代理店機能を有しながらAI活用の成功へ向けたコンサルティング及びPoCでの効果検証が可能です。

お問合せ先

TEL : 011-704-4321  
Mail : marketing@systemk.co.jp

システム・ケイ



## 半歩先の技術で人々の生活を豊かに 株式会社ヴィッツ

～AI搭載システムの品質安全保証サービス～



AI搭載システムの品質および安全を保証することで、  
開発プロセスの導入とシステム開発を支援します。

### 邂逅 (de AI) ポイント!

#### こんなお困りごとはありませんか?

自動運転車両で荷物の搬送をさせたいんだけど、  
安全性をどんな観点でチェックするのいいんだろうか?



AI活用が進む中、AI搭載システムの安全保証が世界で  
活発化しています。

ヴィッツはSEAMSガイドラインを原資としたAI搭載  
システムの品質安全保証サービスを提供します。

#### SEAMSガイドライン

- AI・自動運転・ADASに関する開発者向けのガイドライン
- AIによる自動運転の安全実現のための手順及び解説
- MaaSシステムの機能安全適合に関する事例紹介
- リスク評価の観点を押さえた自動運転用評価項目

#### 支援内容

- 機能安全設計
- 安全コンセプトの文書構築
- AI設計、学習の安全プロセスの構築
- 機能安全開発、検証、評価、効率化
- その他機能安全に関する実務支援全般

#### AI搭載システムの安全に関する社内研修

- 1日コース6時間程度
- 機能安全の概要、安全設計及び安全性評価のポイントを説明

#### SEAMSガイドラインの3つのポイント!



#### SEAMSガイドラインの導入で見える2つのメリット

- 安全論証にかかる時間とコストが大幅削減できる
- 安全性を示すのが難しいシステムに広く応用することが可能

ヴィッツは、「半歩先の技術で人々の生活を豊かに」の企業理念の下、「最先端の技術を優しく誰にでも」というパーパスを掲げ、車載開発を中心に自動運転/先進安全向けシミュレーション技術による開発支援や機能安全設計・評価支援など様々な事業に取り組んでいます。これからもヴィッツが得意とする研究開発力を活かし、近い将来に必要な度の高い技術領域を見極め、世の中に影響を与える企業となることを目指します。

お問合せ先

TEL : 052-218-5858  
Mail : d-utsumiya@witz-inc.co.jp

ヴィッツ

検索

## AI Communis Pte. Ltd

動画字幕編集サービスAuris (アウリス)

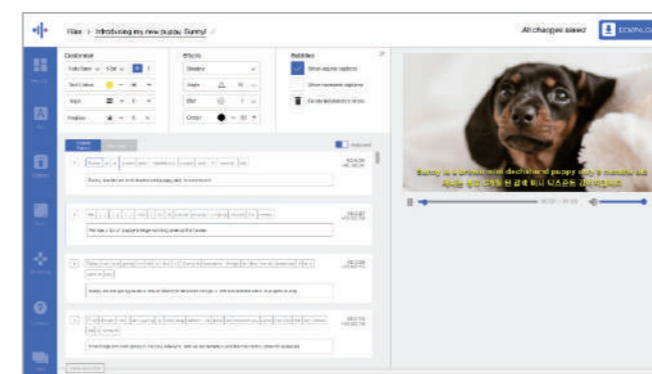


AI×プロの翻訳家による動画翻訳字幕付けサービス  
従来比50%の価格で、インバウンド・海外展開対応

### 邂逅 (de AI) ポイント!



シンガポールで翻訳字幕の  
専用ツールを提供しています。



Aurisは最先端の音声認識および自然言語処理を活用したテキスト化と翻訳により、動画の字幕づけを従来の50%のコストで提供します。

日本語、英語、中国語の他、東南アジアを中心とした20言語の文字起こし、および翻訳字幕に対応しています。2021年のMVPリリース後、ユーザー数は6.5万人を超え(2022年9月時点)東南アジアを中心とした世界中のクリエイターや企業にご利用頂いております。

アフターコロナのインバウンド対応、海外EC対応などに是非導入をご検討ください。

サービスサイト : <https://aurisai.io/>

住所 : 71 AYER RAJAH CRESCENT, #06-24, SINGAPORE  
資本金 : 240万米ドル (3億5千万円)  
従業員数 : 12名  
業種 : AIを活用したソフトウェア開発

お問合せ先

TEL : +65-8332-6356  
Mail : contact@ai-communis.io

Aurisai 字幕

検索



# 全ての企業のAIの民主化を実現 H2O.ai

AIに関する専門的な知識がなくても、ノーコードで高精度なAIモデルを生成できる自動機械学習 (AutoML) プラットフォーム

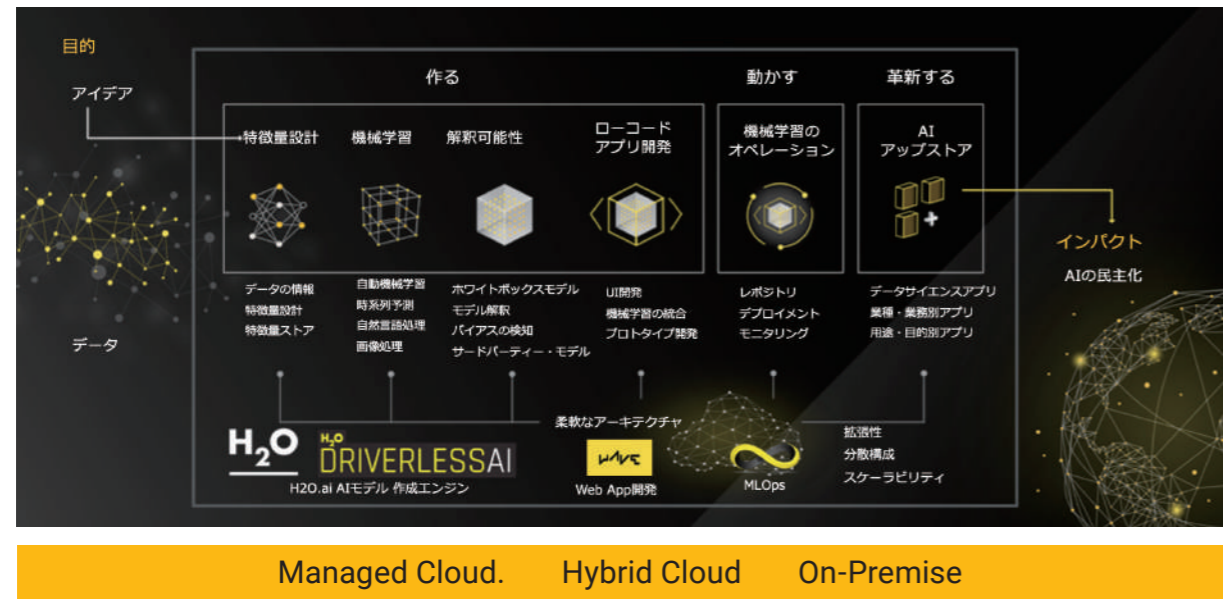


## AI実践のための完全プラットフォーム

H2O.ai社が提供する機械学習自動化プラットフォームは、コアエンジンとなるDriverlessAIを中心として、数値などの構造化データのみならず、画像・音声・自然言語などの非構造化データも対象としてノーコードで高品質なAIモデルの作成を支援します。世界レベルのAI構築環境を、専門家がいなくても今すぐに活用することが可能になります。

## 邂逅 (de AI) ポイント!

Kaggle Grand MastersのAI作成ノウハウを凝縮した世界レベルのAIプラットフォーム



### ノーコードで実現する 自動機械学習プラットフォーム



- 構造化データ、非構造化データ
- 複雑な特徴量設計を自動で実施
- 適切なアルゴリズムの自動選択
- ハイパーパラメーターチューニング
- アンサンブル学習

### チーム開発の効率化 安定したモデルの運用



- モデルの管理
- モデルのデプロイメント
- モデルモニタリング
- データドリフトの管理
- モデルの公平性の管理
- モデルホスティング

### AIの民主化の実現 ユーザーへのAppの提供



- 高度な視覚化を備えたリアルタイムでインタラクティブ AI アプリをすばやく簡単に開発可能
- Python による簡単な開発
- リアルタイムアプリの開発

# 株式会社日本AIコンサルティング 業務ログ分析AI AKT



## 邂逅 (de AI) ポイント!

# 煩雑な業務を 60~95% 削減

### 人はより知的な業務に専念

AKTは、PCにインストールするだけで操作ログを収集し、分析するAIツールです。企業や教育現場に導入することで、データを可視化、DXを加速します。

分析結果は、クラウドシステム「AKT-View」で可視化され、働き方改革・業務効率の改善・働き手の成長サポートを支援します。



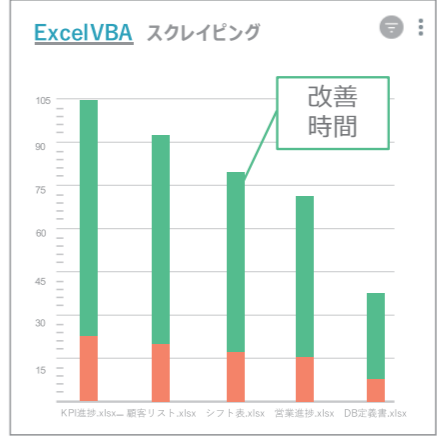
### PC業務をAIが 分析して100%見える化!



PCタスクをAIが言語解析して、特徴キーワードを見える化!

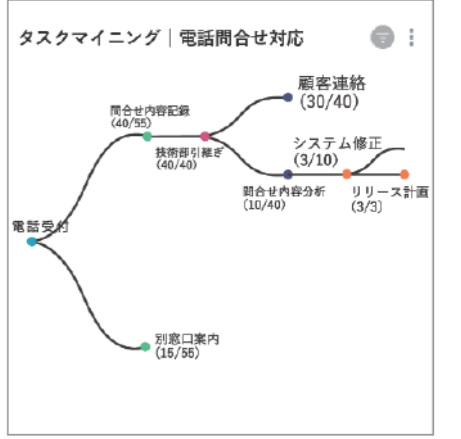
1. データ分析・コンサルティング事業
2. 人工知能開発
3. 教育事業

### VBAを使って、 Excel時間を95分改善!



VBAやWebスクレイピング等の定番手法による改善時間を試算

### 開発中の機能をご紹介 プロセス見える化で、 作業手順の62%を削減!



PCログを分析することにより、個々のタスクレベルでの課題やボトルネックを発見!

## お問合せ先

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-27-5 リンクスエア新宿 16F  
URL : <https://h2o.ai/ja/>  
Mail : [japan-contact@h2o.ai](mailto:japan-contact@h2o.ai)

## お問合せ先

〒564-0051 大阪府吹田市豊津町1-31  
TEL : 06-6369-7870  
Mail : [info@j-aic.com](mailto:info@j-aic.com)





東芝の「ものづくり」の実績から得た知見を、AIの設計に活かし、高精度な識別、予測、要因推定、異常検知、故障予兆検知、行動推定などを実現します。

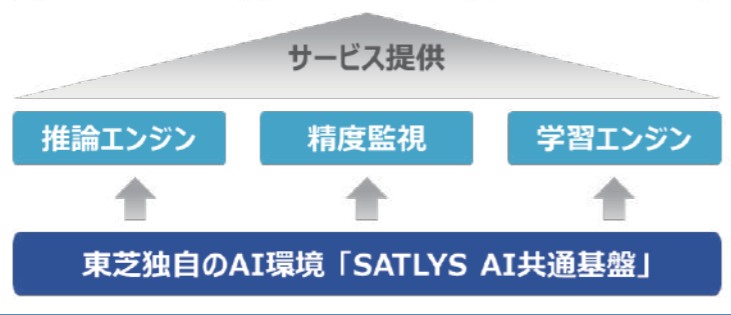
幅広い事業領域における開発経験から、エッジAI/クラウドAIの環境を問わず、画像認識や自然言語処理の技術分野など、AIを活用した新たなサービスの創造が可能です。

## 邂逅 (de AI) ポイント!

お客様との共創を通して、AIモデルの設計・学習およびAI推論サービスの構築を行い、検査データ、センサーデータ、業務データ、行動データなどの解析により、生産性向上や業務効率改善を行います。

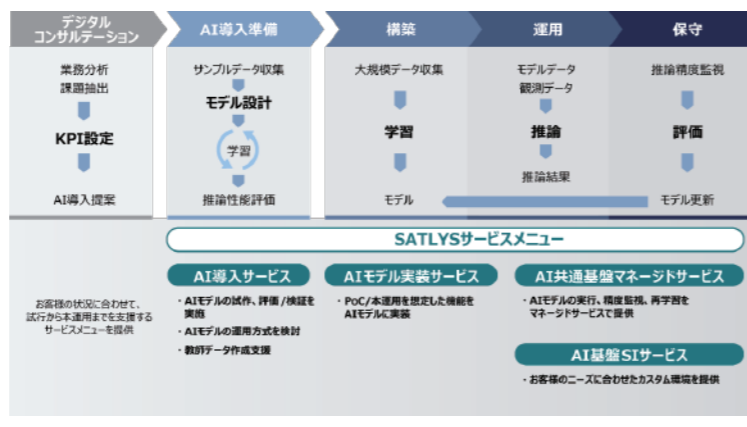
### SATLYSの適用領域と提供価値

エネルギー (安定・高効率)	社会インフラ (安全・安心)	物流・流通 (業務効率化)	ビル・施設 (快適・省エネ)	ものづくり (品質・生産性向上)
<ul style="list-style-type: none"> <li>需給予測</li> <li>供給安定化</li> <li>アセット最適化</li> <li>災害時早期復旧</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>予防保全</li> <li>保守点検省力化</li> <li>防犯・防災</li> <li>サイバーセキュリティ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>作業効率改善</li> <li>在庫最適化</li> <li>輸送品質向上</li> <li>ルート最適化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>異常予兆検知</li> <li>状態基準保全</li> <li>快適性向上</li> <li>消費電力削減</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>検品高精度化</li> <li>歩留改善</li> <li>装置保全</li> <li>ダウンタイム低減</li> </ul>



### SATLYSサービス体系

デジタルコンサルテーションでお客様の業務課題と目標を明確化。AIモデルの試作・評価（導入準備）から本番環境の構築・運用・保守（精度監視やモデル更新を含む）まで、SATLYS サービスメニューがトータルにサポートします。AIモデルの実装・運用を「SATLYS AI共通基盤」で提供し、さらに、AIモデルの学習で必要な教師データの作成も支援します。

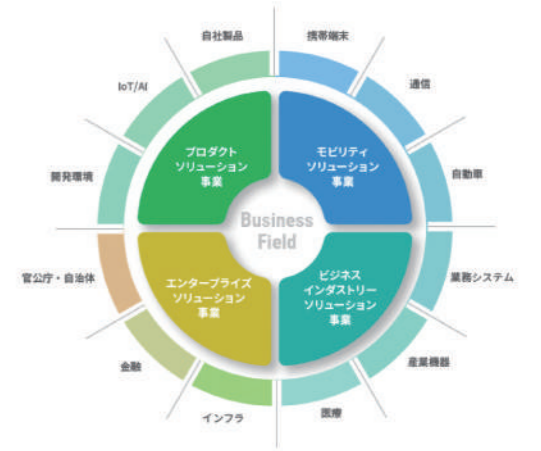


東芝デジタルソリューションズ 株式会社は、神奈川県川崎市幸区に本社をおく本拠を置く東芝のグループ会社です。システムインテグレーション及びIoT/AIを活用したICTソリューションの開発・製造・販売を行っています。

## 邂逅 (de AI) ポイント!

### アイ・エス・ビーの事業領域

アイ・エス・ビーは、専門性の高い4つの事業領域を展開しています。各事業領域におけるドメイン知識を活かして、お客様の要求仕様からサービスインまで、ワンストップでAIソリューションのご提案を提供します。



### 要求仕様からサービスインまでワンストップでご提供



また、アイ・エス・ビーでは、世界中で100億以上のデバイスとアプリケーションを支える独立した技術を有するQtの提供元であるThe Qt Company OyとQt Partner Program契約を締結しています。マルチプラットフォーム対応のアプリケーションフレームワークで、工場・物流・空港・病院などのシステム開発の効率的な開発提案をさせていただきます。(QtはThe Qt Company Oyおよびその子会社の登録商標です。)

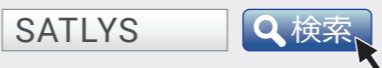
### 【開発実績】

- 画像系** : 物体検知モデルを使ったAIエッジゲートウェイ開発、X線検像AI
- 言語系** : 言語特徴を抽出/関連性を分析するクラウド上のサービス開発 (トレンドワード分析/ビジネスマッチングサイト開発)
- 音声系** : 配管の打音から、老朽度を識別し故障予測を行うサービス、AI心電解析アプリケーション
- パケット系** : 通信マルウェア検知サービス

アイ・エス・ビーは、Webやスマホアプリを使ったシステム開発、車載システムや医療システムを始めとする組込み系開発、官庁・自治体における公共システム、金融システム、またそれらを支えるインフラ開発など幅広い分野における、お客様の課題を長年培ってきた知見や高い技術力によってサポートします。また、AIなど技術革新のスピードが速い分野においても、いち早く取り組みを進めています。

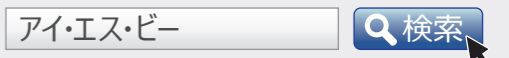
お問合せ先

〒212-8585 神奈川県川崎市幸区堀川町72番地34  
<https://www.global.toshiba/jp/company/digitalsolution/contact.html>



お問合せ先

TEL : 03-3490-7052  
 Mail : ml-sales-ai@isb.co.jp





# 株式会社マクニカ

## チームで効率的に計算リソースを利用できる AI学習環境構築サービス



### 邂逅 (de AI) ポイント!

## AI 開発に最適なインフラ提案と構築、開発者向けの UI をご提供

### 特長

#### シンプルなUIでAI開発を支援

開発に必要な操作を全てUIに纏め、コンテナ/コンテナオーケストレーションの知見がなくとも、すぐにAIモデル開発に取り組みます。

#### システム管理者向けの機能

開発者が使用するサーバーリソースの可視化や開発者の管理、および将来的にGPUリソースを追加できる仕組みを提供します。

#### コンテナ利用環境でもセキュリティリスクを最小化

コンテナイメージを保管する社内専用レジストリーを提供し、セキュリティリスクが潜むコンテナイメージの利用を防ぎます。

### パッケージプラン

推奨ハードウェア (松竹梅から選択可能) とポータルサイト (システム構築付き) をパッケージでご提供します。問い合わせ対応と保守3年間が付きます。

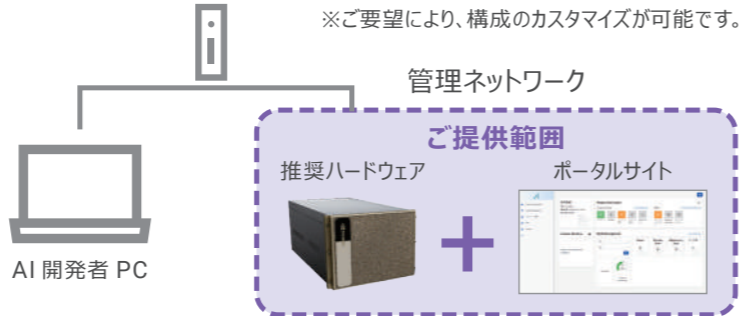
### 仕様

サーバー仕様	梅モデル	竹モデル	松モデル
機種	Dell Precision 5860 Tower	PowerEdge R760xa	PowerEdge XE9680
CPU	インテル Xeon W7-2475X	インテル Xeon Platinum 8462Y+	インテル Xeon Platinum 8470
Memory	256GB	512GB	1TB
SSD	2TB x2	3.84TB x2	3.84TB x2
形態	Mid-Tower 型	Rackmount 型	Rackmount 型
GPU モデル	RTX A4000/A4500/A5000/A5500 A6000	H100/A100/L40S/L40/L4/A40/A30/A16/A2	H100/A100
GPU 数	~ 2 枚	~ 4 枚	8 枚
NVIDIA AI Enterprise オプション	×	○	○

### 直感的に操作できる開発者・IT管理者向けUI



### システム構成



お問合せ先

株式会社マクニカ クラビス カンパニー  
〒222-8561 横浜市港北区新横浜1-6-3 マクニカ第1ビル  
TEL:045-470-9821 Mail: clvinfo@macnica.co.jp

マクニカ NVIDIA 検索

# Run:ai

## GPUリソースの動的かつ自動的なチーム間共有を実現 Run:ai Atlas Platform



### 邂逅 (de AI) ポイント!

## AI の計算性能を向上させ、データサイエンスのイノベーションを加速

### 企業のAI開発における課題

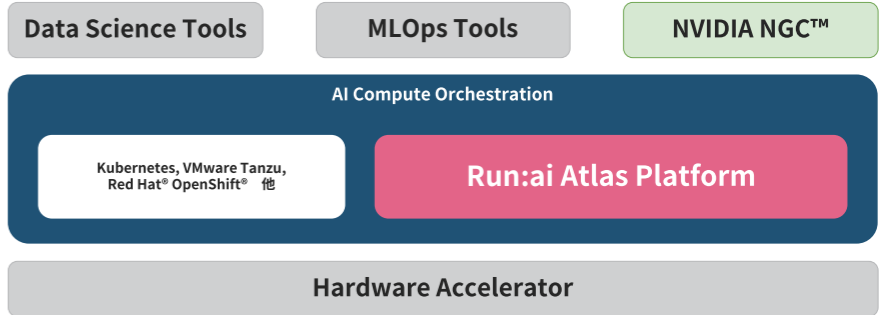
**インフラがサイロ化し、GPUリソースを活用できていない**  
各部門もしくは個人専用のGPUとなっており、計算リソースの共有ができておらず、非効率な作業が強いられています。

**AI開発サイクルにおける遅延の発生**  
モデル構築、トレーニング、本番稼働など、AI開発の各段階で必要とするGPUリソースは異なるが、優先順位設定ができない場合、一部の部門やクリティカルでないジョブがGPUリソースを独占してしまい、深刻な遅延を引き起こしてしまいます。

**Kubernetesの知識習得**  
コンテナオーケストレーションやKubernetesに触れた経験のない開発者にとって、AI開発環境の構築を進めるためには、Kubernetesを含む多くのソフトウェアについて時間をかけて知識や構築ノウハウを習得しています。

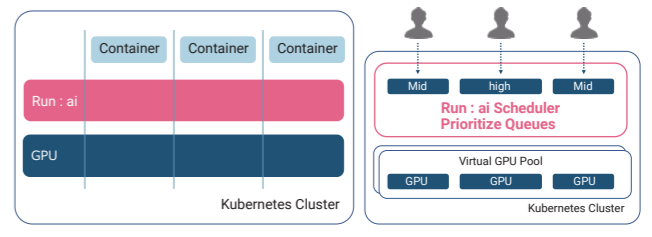
### Run:ai Atlas Platform が解決

Run:ai社が提供するAtlas Platformは、GPUリソースの動的かつ自動的なチーム間共有を実現するプラットフォームで、Kubernetesのプラグイン (ソフトウェア) として提供されます。



### Run:ai Atlas Platformで実現できること

- 組織で横断したGPUリソースのフル活用
- 優先順位にあわせた完全自動のGPUリソース割り当て
- 既存のKubernetes環境にアドオンして、豊富な機能を



### Run:ai とは

Run:ai は、2018年イスラエルで設立され、AIインフラの基盤を提供し、あらゆる業界の組織がAI時代のイノベーションを加速することを目的とするMLOpsのテクノロジーカンパニーです。Kubernetesを中心としたクラウドネイティブ技術のエキスパートが豊富に在籍し、独自のIPを多数所有し、大規模 GPUクラスターの構築を多く経験しています。NVIDIA社 DGX 認定ソフトウェアのうちの1社であり、NVIDIA Premier Inception Partnerで、様々なAI市場 (ヘルスケア、自動運転、防衛、エネルギー、リテール) に採用が広がっています。

お問合せ先

株式会社マクニカ クラビス カンパニー  
〒222-8561 横浜市港北区新横浜1-6-3 マクニカ第1ビル  
TEL:045-470-9821 Mail: clvinfo@macnica.co.jp

マクニカ Run:ai 検索



「業務のデータ」を「分析データに」。プログラミングができない人でも多様なデータソースから「欲しい形」へ簡単に加工できます

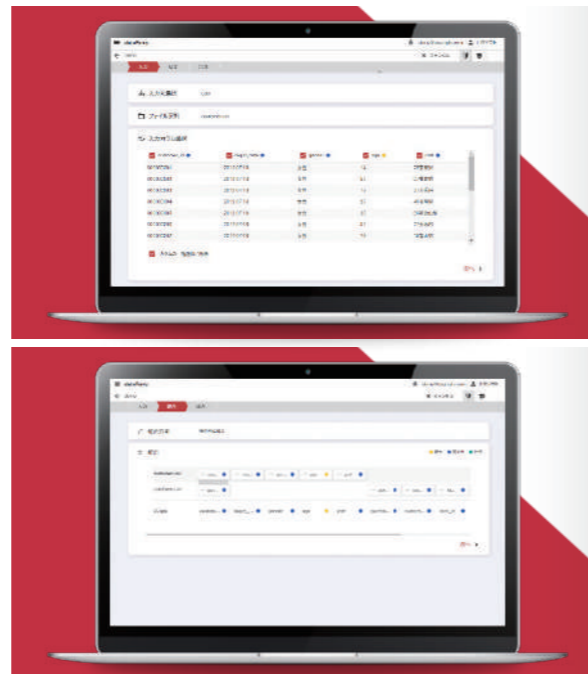


### ～データプレパレーションツール「dataFerry」～

dataFerryは、「業務のデータ」を「分析のデータ」に加工し、ビジネスを加速させるデータプレパレーションツールです。プログラミングのできない人でも、多様なデータソースから「欲しい形」へ簡単に加工できます。

AI・機械学習、統計解析を行う際、ほとんどの場合にデータ前処理が必要とされ、一般的にデータサイエンティストがSQLなどのプログラミング言語を用いて実行しています。dataFerryはそのデータ結合や変換といったデータ前処理工程を直感的なインターフェイスかつノーコードで実現することにより、プログラミング知識のない業務担当者でもあらゆるデータ処理をマウス操作だけで可能にします。

異常値除外やグルーピング集計、フォーマットの統一はもちろん、多様なデータソースからの入力やAWSやBigQueryなどあらゆる接続先への出力が可能です。

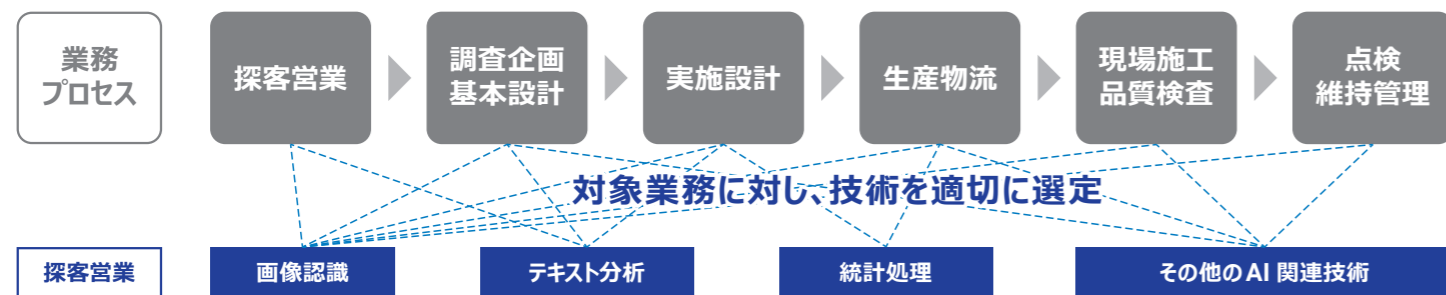


### 建設分野でのAIを含めたデジタル技術活用コンサルティング



建設分野において、労働者人口の減少や後継者不足を背景として、生産性向上、省力化、省人化といった課題が顕在化しています。そのような課題を解決するためには、やみくもに最新技術を用いるのではなく、AIを含めたデジタル技術を適切に活用することが重要です。

構造計画研究所は、1956年の創業以来、建設分野での構造設計や数値解析を中心に技術コンサルティングやシステム開発を行ってきました。また、30数年前より、最適化手法や統計処理など、昨今の機械学習に通ずる技術を他社に先駆けて活用・実践しています。

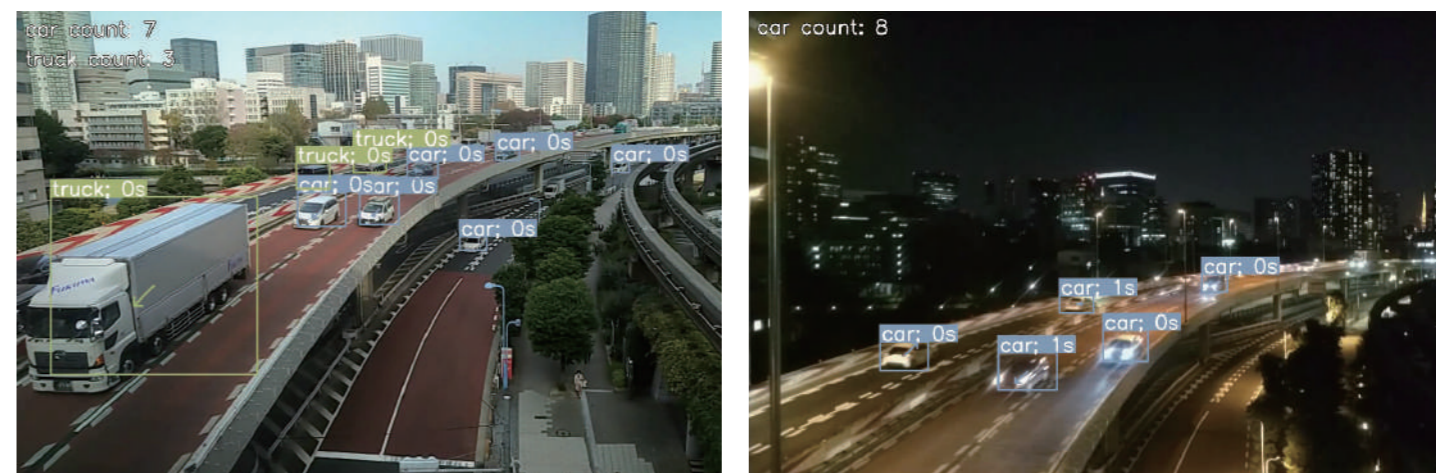


建設分野での生産性向上の実現には、「どのような業務の何を改善したいか」という課題設定が重要です。また、設定された課題を解決に導くためには、適切な方法や技術を選定しなくてはなりません。当社は、問題の特定やありたい姿の策定から、実際の解決施策の提案と実行に至るまでトータルでコンサルティングを行います。

AI・デジタル技術の試行やPoCだけで終わることのないよう、業務で効果を生み出せることを見据えて、お客様と共に、業務の現状把握や要因分析を行います。建設分野の知見をもつエンジニアとデータサイエンスの専門家を組み合わせたコンサルタントのチーム体制により、建設分野の業務課題の解決に向けて、実業務でのAI活用を目指します。



### スマートシティ向け画像解析AIモデル ～ 交通量計測AI ～



監視カメラ映像から一定時間に通過した、車両数のカウント、人の数のカウント、ができるAIモデル。

車両カウントは、自治体の交通量定期調査、高速道路・幹線道路の渋滞管理などに活用できます。

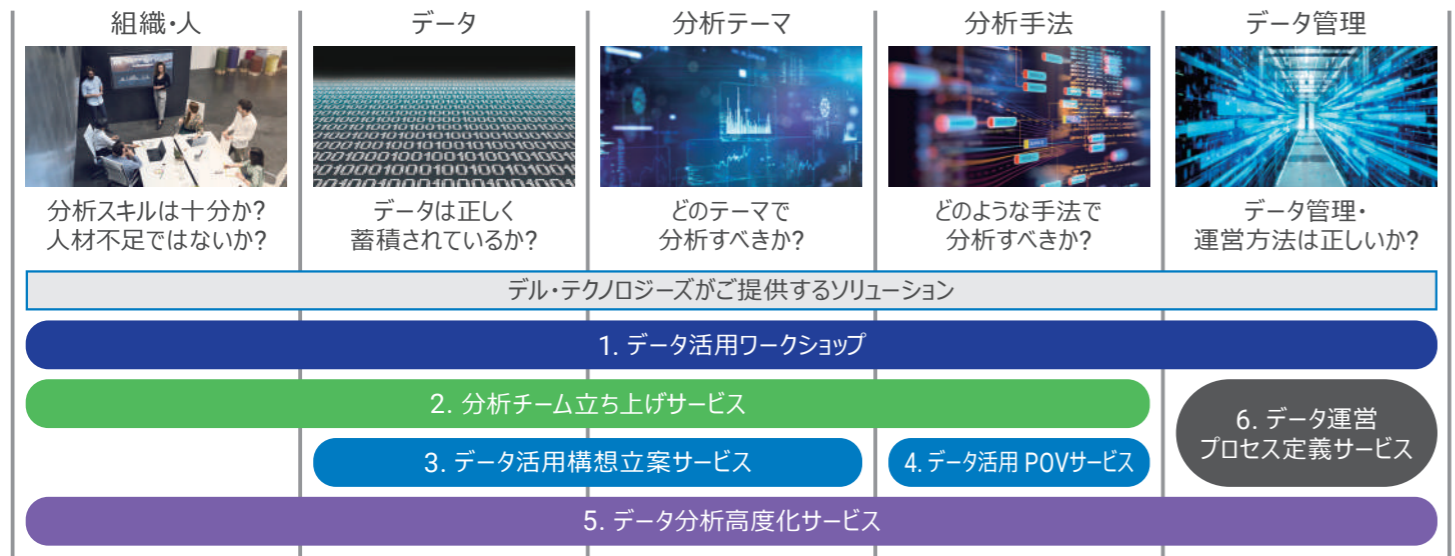
人流カウントは、街中や商業施設やイベント会場等での人の流れを把握することで、人の誘導や警備員・通路の最適化、集客効果の測定など、様々な応用が可能です。





# 27 デル・テクノロジーズ AIのためのデータ活用サービスご紹介

デル・テクノロジーズでは、AIを使って本質的なビジネス成果 (Business Outcome) を創出するため、お客様のデータ分析・活用を支援するための、コンサルティングサービスを提供しています。Business Outcomeを創出するためには、組織や人を中心とした分析スキルの向上及び、データ活用のための仕組みを構築することの両方が不可欠です。デル・テクノロジーズの経験豊富なコンサルタント及び、ベストプラクティスを活用し、お客様のデータ活用における課題抽出から、その解決に向けたデータ活用までを専門家がご支援します。



- |                         |  |                           |  |
|-------------------------|--|---------------------------|--|
| <b>1. データ活用ワークショップ</b>  | データ活用で何が出来るかを他社の事例を通じて理解します。データ分析に必要な短期アクションプランを策定します。 | <b>4. データ活用 POVサービス</b>   | データ分析がビジネスに貢献できるか実証試験をします。想定されるコストに見合った成果を得られそうか判断します。 |
| <b>2. 分析チーム立ち上げサービス</b> | 貴社社員様に対してデータサイエンティスト育成の教育とOJTを実施し、データ分析チームの設立支援を実施します。 | <b>5. データ分析高度化サービス</b>    | 分析テーマの決定や分析手法選定、分析精度の評価など日常的分析業務における困りごとを解決します。        |
| <b>3. データ活用構想立案サービス</b> | 分析したいテーマが既存データで充足しているか、不足している場合はどのようにデータを収集するか検討します。   | <b>6. データ運営プロセス定義サービス</b> | データカタログの管理、アクセス権の設定などデータ運営に必要な運用設計を実施します。              |

## 1. データ活用ワークショップ

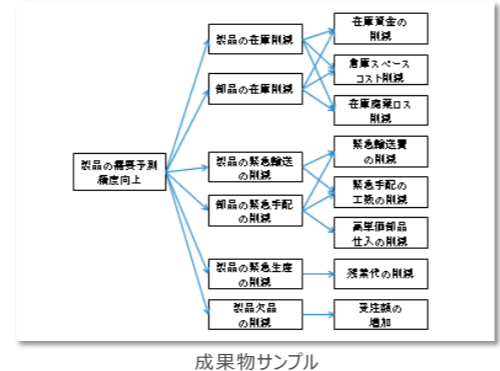
ワークショップを通じてデータ活用に取り組む価値を再定義します。取り組みテーマやアプローチを整理し、短期アクションプランを作成します。

第 1 回	データ活用プロジェクトの理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>キックオフ</li> <li>データ分析事例</li> <li>活用テーマの検討</li> </ul>
第 2 回	データ活用チームと役割の理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>データ活用の要素理解①               <ul style="list-style-type: none"> <li>BIGDATAライフサイクル</li> <li>基本スケジュール</li> <li>体制と役割分担例</li> <li>短期アクションプランの構成要素</li> </ul> </li> </ul>
第 3 回	活用テーマの目的定義と難易度基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>データ活用の要素理解②               <ul style="list-style-type: none"> <li>活用テーマの難易度基準例</li> </ul> </li> <li>短期アクションプラン討議①               <ul style="list-style-type: none"> <li>目的と現状把握</li> <li>活用テーマの分解と難易度定義</li> </ul> </li> </ul>
第 4 回	分析基盤理解とアクションプラン討議	<ul style="list-style-type: none"> <li>データ活用の要素理解③               <ul style="list-style-type: none"> <li>分析基盤のアーキテクチャ例</li> <li>分析基盤の検討ポイント</li> </ul> </li> <li>短期アクションプラン討議②               <ul style="list-style-type: none"> <li>分析基盤の準備方法検討</li> </ul> </li> </ul>
第 5 回	短期アクションプランまとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>短期アクションプラン案まとめ</li> </ul>

### ■ 短期アクションプランの構成

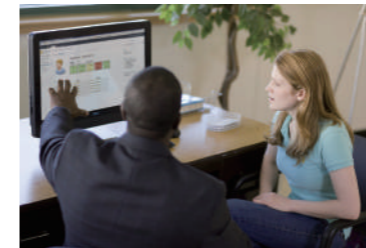


### ■ 目指すべき情報活用の成果



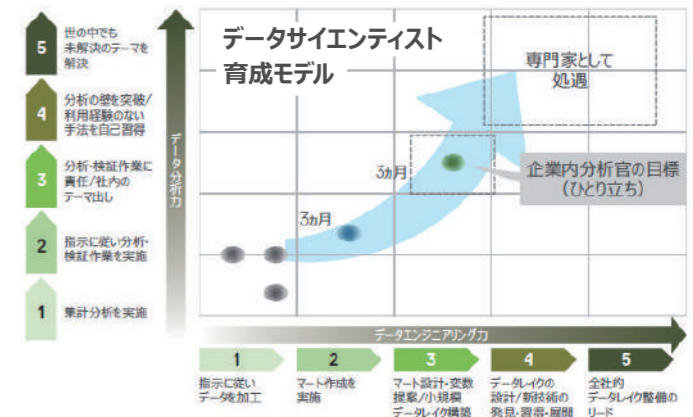
## 2. 分析チーム立ち上げサービス

分析テーマを決定し、分析手法を駆使するデータ分析力と、データを分析用に加工するデータエンジニアリング力の双方からデータサイエンティスト (データ分析官) を育成し、6か月間で企業内チームとしての組織立ち上げを目指します。



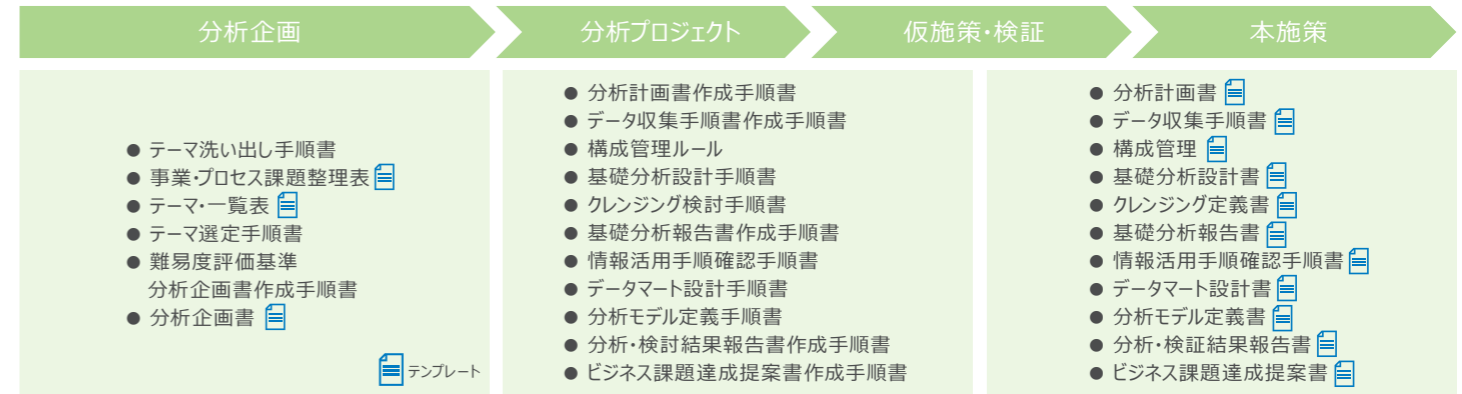
お客様内でデータサイエンティストを育成するメリット

- 貴社に分析ノウハウが蓄積される
- 業務に精通したメンバーによる分析テーマ立案が可能になる
- 業務、IT部門との連携による高速PDCAを実現する



データサイエンティストの育成後も、分析の手順、方法がテンプレート化されており、安心して分析業務を実施できます。

### チーム強化を加速させるプロセステンプレート



## 3. データ活用構想立案サービス

お客様がデータ活用により実現したいテーマをディスカッションを基に抽出し、実現の容易性と得られる効果を基に検討し、内容を決定します。分析するに辺り、既存データで充足しているか、不足している場合はどのようにデータを収集するか検討し、最終的に分析プロジェクトの実施計画を策定します。標準ではワークショップを週1回、6週間に渡って実施します。期間やお時間については、お客様のニーズに合わせてカスタマイズ可能です。



### 分析プロジェクト実施計画策定のためのワークショップ (例)

1st Week	事前情報共有 ユースケースについて概要確認	ユースケースの内容、ユースケース特有の社内業務概要、取得できているデータ項目内容、取得状況等を確認
2nd Week	活用事例紹介 活用テーマ出しディスカッション	他社事例などをヒントに、データ活用により実現したいテーマをディスカッションしながら抽出
3rd Week	テーマの取組み 優先順位付け	ユースケースから抽出したテーマに対して、難易度と期待効果を軸に優先順位付けを実施
4th Week	テーマの深掘り (必要データ洗い出し/分析方法検討)	優先度高と位置付けたテーマに対し、分析方法と使用データの具体的な検討を実施
5th Week	必要データの確認 (データ所在/収集可否、サイズ/ボリューム)	テーマに使用する必要データの所在と収集可否、それに対して必要なインフラリソースの確認を実施
6th Week	アクションプラン作成	抽出したテーマに対する分析プロジェクトの実施計画 (スケジュール、リソースなど) を作成



## 4. データ活用POVサービス

お客様のデータをデル・テクノロジーが分析し、効果が得られるか検証します。十分な効果が得られない場合は、収集データを増やすなどを検討し計画に反映させます。

### データ分析価値検証

フェーズ	分析テーマ選定	データ分析	結果報告
概要	● お客様が保管されているデータとデータ分析計画の方針を考慮し、データ分析のテーマを決定します	● お預かりしたデータをデル・テクノロジーにて分析いたします	● 分析結果を取りまとめ貴社へ報告いたします
デル・テクノロジー	● 分析テーマを効果の有無、データの内容から候補を選定します	● データを分析しやすいように加工し、分析を実施します ● 定例会を設け分析の進捗を報告いたします	● 分析結果報告書を作成し、貴社へ報告いたします ● 現状蓄積していないデータが必要など今後必要なアクションをデータ分析計画に反映させます
お客様	● デル・テクノロジーが選定した候補から分析テーマを決定します	● 定例会にてデル・テクノロジーから追加データの提供、ヒアリング等の依頼に対応します	● 報告内容を受け取り、分析結果が業務改善に活かせるか判断します

## 5. データ分析高度化サービス

日常における分析業務の更なる精度向上を目指したサービスです。分析テーマの決定や分析手法選定、分析精度の評価など、日頃の疑問や、分析業における課題をクリアし、またデル・テクノロジーのベストプラクティスを提供することによりビジネス成果の向上を狙います。

### データ分析高度化のための様々な支援サービス

データ活用戦略 コンセプト立案研修	データ分析の ロールプレイ研修	マーケティング 事例紹介	データレイク構築と 運用の事例紹介	予測モデルアプリ運用の 事例紹介
業務の課題からそれを解決するデータ分析方法を 思いつくスキルを身につける	モデル構築とその活用までの一連の作業を通して 実務経験を補完する データ分析担当向け	マーケティング分野のデータ分析の実務に関する知識を得る	データマネジメント業務の実務に関する知識を得る データマネジメント担当向け	アプリへのデータ分析モデルを組み込む業務の実務に関する知識を得る アプリケーション連携担当向け
● 1h x 1回 ● 事例紹介 ● ディスカッション	● 初回(2h) ● 中間発表会(2h) ● 最終発表会(4h)	● 1.5h x 1回 ● 事例紹介 ● ディスカッション	● 1.5h x 1回 ● 事例紹介 ● 質疑、ディスカッション	● 1.5h x 1回 ● 事例紹介 ● 質疑、ディスカッション

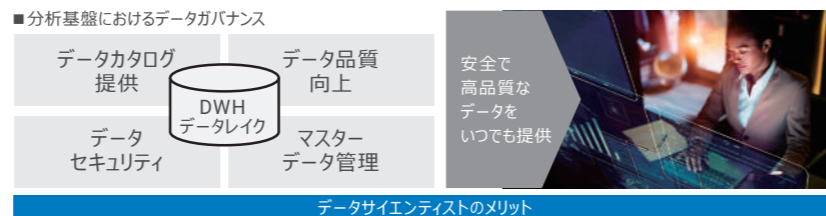
## 6. データ運営プロセス定義サービス

データ活用はIT基盤構築で終わりではなく、継続的に運営できるプロセス定義が必要となります。機密情報の扱い、データの形式の統一、データの粒度など、いつでも安全にデータ分析するためのデータプラットフォームの運営における課題を整理する必要があります。

デル・テクノロジーでは、ファーストステップとして、データサイエンティストがデータを利用しやすい環境を整えることを推奨しています。これにより**データ分析の生産性向上を実現**します。

**データプラットフォーム運営設計** プラットフォームを運営する上でのワークフローや役割を定義します。

概要	①役割・プロセス定義	②基盤運営ルールの検討	③データガバナンス検討	④データカタログ化検討
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 基盤運営に関わる役割・機能の定義                             <ul style="list-style-type: none"> <li>● 必要機能と役割の洗い出し</li> <li>● 組織・チームに対する役割の検討</li> </ul> </li> <li>■ 運営業務プロセスの定義                             <ul style="list-style-type: none"> <li>● 必要プロセスの整理と定義</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 基盤運営に関わるルールの定義                             <ul style="list-style-type: none"> <li>● 運営業務プロセスと役割のマッピング</li> <li>● 運営ポリシーと必要なルールの整理</li> <li>● 運営ルール・フローの定義</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ データガバナンスとマネジメントに必要な要素定義 (以下要素など必要性検討)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>● メタデータ管理、カタログ</li> <li>● データ品質、来歴管理</li> <li>● データ参照ルール、リレーション管理</li> <li>● アクセス権限、履歴管理</li> <li>● 機密情報管理、マスキング</li> </ul> </li> <li>■ 各要素に対するデータ管理                             <ul style="list-style-type: none"> <li>● ルール定義</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ データカタログ化の方式検討                             <ul style="list-style-type: none"> <li>● 必要ツール・技術の整理</li> <li>● ツール、技術による実現方式定義</li> </ul> </li> <li>■ カタログ化すべきデータの検討                             <ul style="list-style-type: none"> <li>● カタログ化すべきデータの洗い出し</li> <li>● データカタログドラフト版作成</li> </ul> </li> </ul>	



- ✓ 必要なデータがどこにあるか**自分で調べられる**
- ✓ データの仕様が明記されているので**分析のミスが削減**できる。
- ✓ 欠損データや異常値が事前に補正されているので**分析効率が上がる**
- ✓ アクセス権のないデータにアクセスできない、またはマスキングされているので**安心して分析できる**
- ✓ 表記の揺れが無くなり会社名など**表記が統一される**

## 30 デル・テクノロジーズ AIのためのデータレイク構築・運用支援サービス

デル・テクノロジーズでは、AIのためのデータ活用基盤の構築を支援します。お客様のデータレイクにおける現在の課題もしくは、新たに構築するデータレイクに対するご要望を伺い、全社共通となるデータの集積場所を作成し、データ分析者が扱いやすいデータマートを構築するサービスです。

### データ分析価値検証

データ分析価値検証	豊富な分析環境
<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>非構造化データ対応</b>：あらゆるデータフォーマットを収集・処理・管理対象とできること</li> <li>● <b>リアルタイムデータの高速処理</b>：リアルタイムデータのロード・イベント処理などが即時に行えること</li> <li>● <b>データ活用の高速処理</b>：大容量データの処理(ロード・検索・解析)を高速に行えること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>習得の容易な標準SQLに対応</b>：標準SQL対応により、既存のスキルやプログラム資産を活用できること</li> <li>● <b>最新分析手法にも対応</b>：今後新しく出現する分析技術を適宜基盤に適用できること</li> <li>● <b>容易なシステム拡張</b>：容量不足や性能不足に際して、容易にシステム拡張ができること</li> </ul>

### データレイク構築・運用支援のサービスラインナップ



### データレイク推進ワークショップ

現状の課題を洗い出し、データレイクのあるべき姿 (ToBe) と直近の目標 (CanBe) を定義し、ロードマップを策定します。

	第1回	第2回	第3回	第4回
検討 タスク	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 計画の進め方の検討/合意</li> <li>● データ活用基盤の概念認識合わせ</li> <li>● 既存システムの現状と課題(ホワイトボードディスカッション)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 将来像 (ToBe) の仮置き</li> <li>● CanBeモデルの検討と必要アプローチの検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 期待効果の整理</li> <li>● ロードマップ検討(短/中期)</li> <li>● アクションプラン検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Workshop総括</li> <li>● 報告内容の整理</li> </ul>
想定 アウトプット	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 既存DWHの全体像</li> <li>● 現状DWH、データ活用における課題リスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ToBe/CanBeモデル(仮置き)</li> <li>● 必要なアプローチ、アーキテクチャ整理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 次世代モデル効果整理</li> <li>● ロードマップ案</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 各種成果物のブラッシュアップ</li> </ul>

### データレイク推進ワークショップ以外のサービス (詳細は当社担当営業までお問い合わせください)

データレイク構築サービス	データレイク、DWHなどデータ分析に必要な基盤を構築します
データレイク技術支援サービス	Hadoopの構築のみならずプロジェクトの進め方、設計書のレビューやクエリーチューニングなど包括的に技術提供をします
データレイク運用支援サービス	Hadoop運用に関する全般的な質問に対する回答を行います
Hadoopハンズオントレーニング	Hadoopの構築から運用までのトレーニングをハンズオン形式で提供します

## デル・テクノロジーズ コンサルティングサービス

中立的な立場でハードウェアからアプリ基盤まで幅広く対応します。

- 中立性** - 中立な立場による柔軟かつ最適なソリューション選択  
オープンソース、パブリッククラウドなどを活用し、ベンダーロックインすることなくお客様に最適なソリューションを提供します。
- グローバル** - グローバルで2000名を超えるコンサルタント  
日本ではまだ事例が少ない最先端の技術でもグローバルの実績をもとに提供することが可能です。
- 幅広い知見** - ハードウェアからクラウド・ネイティブ・アプリまで幅広く  
ハードウェアのみならず、VMware、Pivotal、Boomiなど幅広い技術を活用します。PaaSやミドルウェアの性能を引き出すハードウェア構成など、他社には無い幅広い知見を有し提供可能です。
- ノウハウの伝授** - お客様自身による自立した運営を目指します  
デル・テクノロジーズの技術、プロセスを活用し人材育成を実施し、お客様内で運営できるようになるまで支援します。

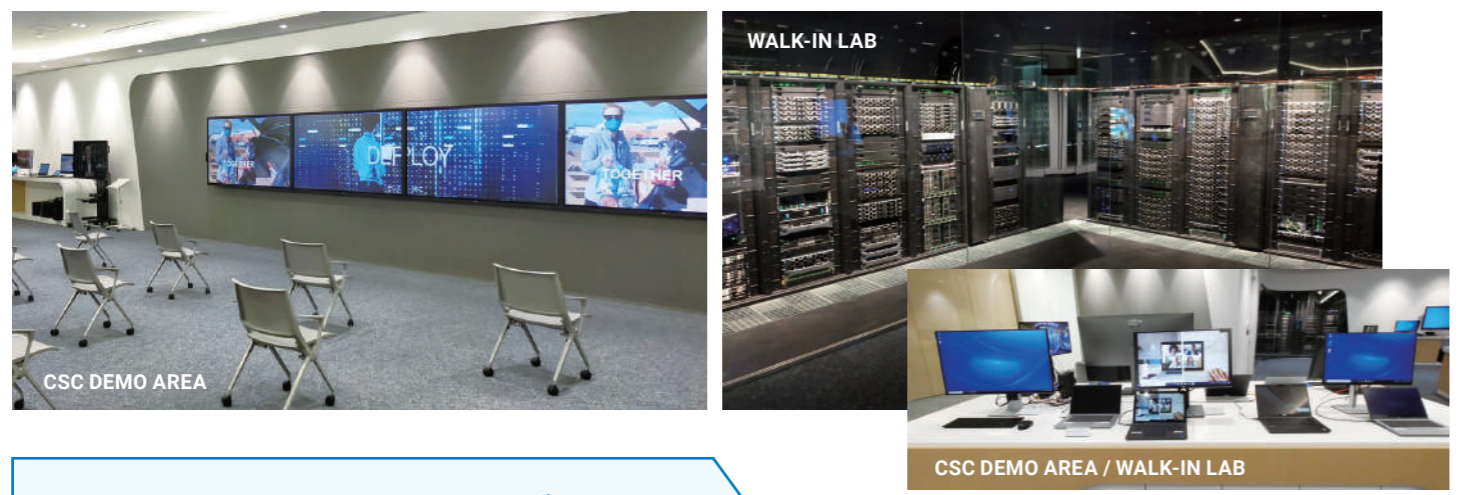


AI Experience Zoneは、デル・テクノロジーの製品群を活用した最新AIソリューションの体験と検証を目的とした専門施設です。千代田区大手町のデル・テクノロジー本社オフィス内にあります。

AIインフラの導入を検討しているお客様や、AIを活用したソリューション開発に取り組んでいるパートナーがご利用いただけます。同施設を利用することで、事前検証や具体的な動作を体験することができるので、AI活用の具体的なイメージを描くことができます。

デル・テクノロジーは、AI Experience Zone をAIの活用促進を図るコミュニティハブと位置づけ、日本におけるAIのビジネス活用の拡大に貢献します。

- | お客様のメリット  | 利用例  | 設置機器 (一部の機器のみ掲載)  |
|---|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>最新AIソリューションの体験</li> <li>具体的な操作や動作イメージを体験</li> <li>検証 (PoC) の実施</li> <li>課題抽出などの具体的な施策の策定サポート</li> <li>最新ソリューション情報の入手</li> <li>新たなAIソリューション開発 (パートナー企業)</li> <li>商談機会の創出 (パートナー企業)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>AIソリューションの検証/評価</li> <li>AI ECOパートナーソリューションの比較検討</li> <li>NVIDIA製GPUの性能比較</li> <li>データレイク (Isilon, Hadoop) との連携確認</li> <li>複数GPUによる分散処理の動作確認</li> <li>専任AIエキスパートとのディスカッション</li> <li>セミナー、イベントの開催</li> </ul> <p>※内容によってはリモートの利用も可能です</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>PowerEdge R760xa, R760, R660, R7625, R7615</li> <li>PowerEdge R750xa, R750, R650, R7525</li> <li>PowerEdge XE8545, C4140, R640, R740xd</li> <li>PowerScale F200, Isilon F800, H500</li> <li>PowerFlex</li> <li>PowerStore</li> <li>NVIDIA GPU</li> </ul> <p>※2023年9月現在</p> |



### AI Experience Zoneユーザーの声

#### A社: 卸売業 (従業員数100名未満)

##### H2O Driverless AIを利用

A社は、国内外自動車メーカーの純正品卸売と整備サービスを主業とする世界の自動車産業を支える企業である。

同社の課題は、「在庫管理と売り上げの2重計上を減らすこと」であり、早急に高精度の売り上げ予測システムを構築する必要があった。そこで、同社は AI Experience Zoneの「H2O Driverless AI」を使い、事前検証を実施した。

H2O Driverless AIとは、自動機械学習プラットフォームで、AIの専門知識がなくても高度な予測モデルの作成が可能なソリューションだ。

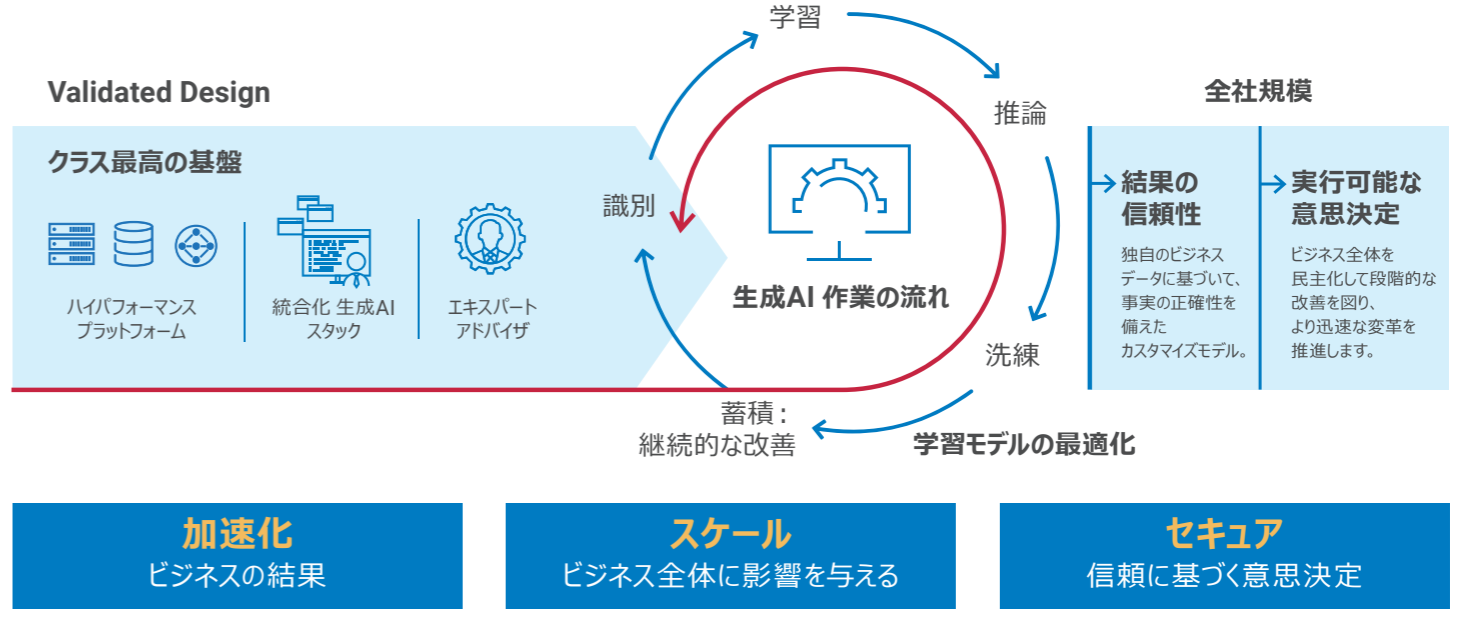
同社の人工知能システム開発担当者は、AI Experience Zoneを利用した経験を次のように語る。

「今回の検証では、機密上の理由から自社のデータを使うことはできなかったが、デルさんのエンジニアが弊社のデータに近いサンプルデータを準備してくれたことでスムーズに検証を進めることができた。そしてDriverless AIが高度なAIスキルを必要としない点、出てきたアウトプットに対する根拠の説明が可能である点も事前検証で実感できた点は、人的リソースに限られる弊社には大いにメリットがあると確信するに至った。」

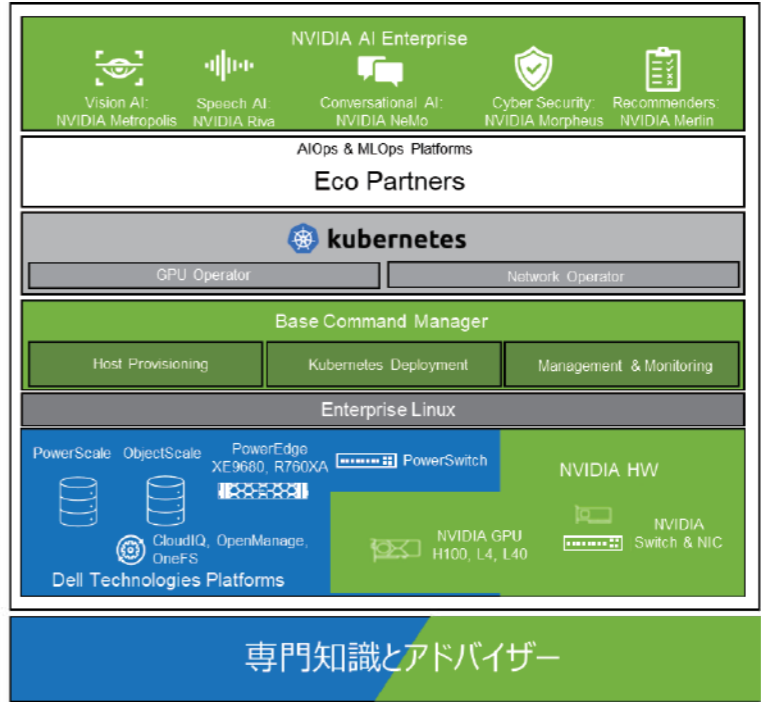
現在、A社は「H2O Driverless AI」を導入し、課題を解決するために高精度の売り上げ予測システムの開発を進めている。

AI導入の課題	<b>人材不足</b> データサイエンティストの不足 スキルのバラつき	<b>時間</b> モデル作成に時間がかかる モデルをすぐに実装できない 環境設定が複雑	<b>ブラックボックス化</b> AIの判断理由が説明できず、 ビジネスで使えない
機会学習ワークフロー	● 世界のトップデータサイエンティストのノウハウをソフトウェア化 ● 機械学習におけるモデル作成業務を高速・高精度での自動化を実現 ● 特徴量設計やモデルの検証・調整の自動化により、機械学習にかかる時間が劇的に短縮され、自社のAI活用を加速		
Why H2O Driverless AI?	<b>高精度</b> "Top Data Scientist in a Box" 高度な特徴量設計	<b>高速</b> 機械学習にかかる時間を大幅に短縮 ● GPUによる高速計算 ● Scoring Pipeline	<b>説明可能 XAI</b> 説明性と透明性を実現 ● モデルの説明性 (MLI) ● サマリーレポート生成 ● データの自動視覚化

生成AIに最適化された業界クラス最高のプラットフォーム、ソフトウェアと、デル・テクノロジーとエヌビディアの優れた専門知識と支援により、企業のビジネスを加速化

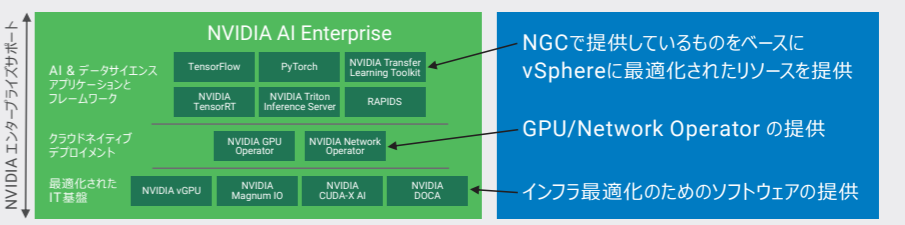


#### 構成概要



#### NVIDIA AI Enterprise とは?

NVIDIA AI Enterpriseは、NVIDIAによって最適化、サポートされる、NVIDIA認定システムで実行されるAIおよびデータ分析 ソフトウェアのエンドツーエンドのクラウドネイティブスイートです。





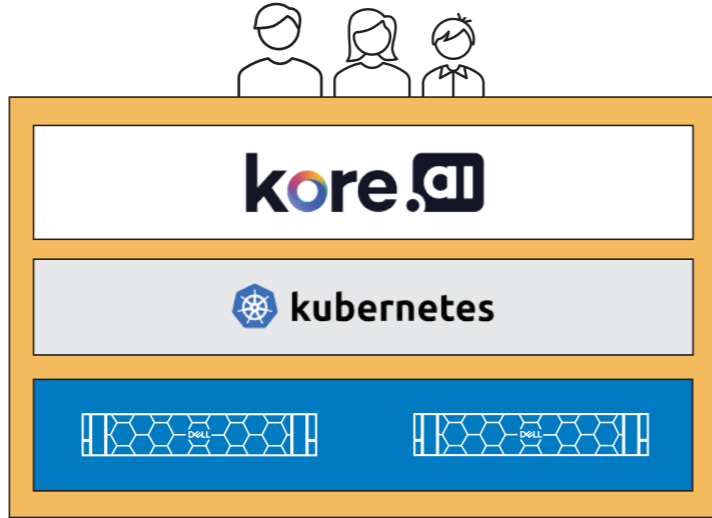
# Dell Validated Design for AI

## Conversational AI (kore.ai)

AIを活用して顧客との特別な会話を実現  
高度な会話型AIにより、音声およびデジタル チャネルでのより効率的かつ効果的な対話が可能になります。

### 特徴

- **質の高い顧客エクスペリエンス:**  
顧客と従業員の特定のニーズに耳を傾け、学習し、対応するように設計されたソリューションを提供。
- **価値実現までの時間を短縮:**  
会話型AIのユースケース（人事、従業員のワークスペース、銀行業務、ヘルスケア、検索支援など）にトレーニングを受けた仮想アシスタントを活用。
- **シームレスな引継ぎ:**  
スキルと対応可能性に基づいて、必要に応じて顧客からの問い合わせを適切なリソースに引き継ぎます。途中のコンテキストが保持されるため、エージェントは自動化された対話で顧客が中断したところから再開。

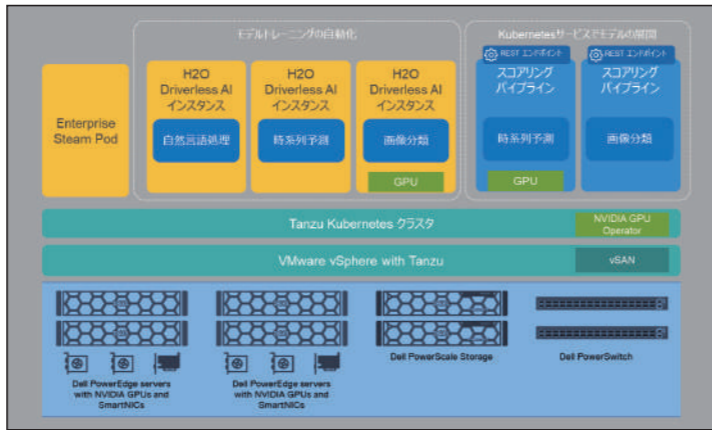


## AutoML (H2O.ai)

自動機械学習でAIの民主化を加速する

### 特徴

- **AIの簡素化:**  
AutoMLにより、誰でも簡単にAIモデルをトレーニング。
- **AIインサイトの高速化:**  
AI展開の手順/運用がより迅速に合理化。
- **実績のあるAIの専門知識:**  
世界クラスのサービスとサポートに裏打ちされた、技術検証済みのAutoML ソリューションを安心して展開可能。



## GPU Optimization with Run.ai

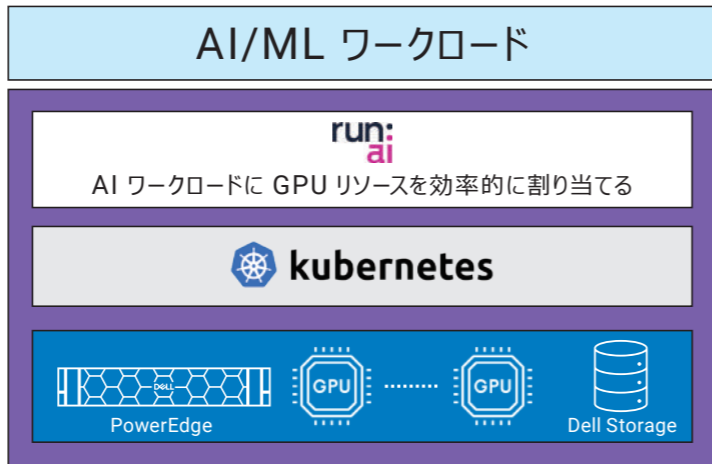
コンピューティング リソースを最適化してAIを加速する

### 利点

- 貴重なGPUリソースをプールして最適化
- GPUあたりの使用率と価値を高めてROIが向上
- ビジネスに関するより優れた洞察と成果をより迅速に推進

### 特徴

- ユーザーが AI コンピューティングリソースのクラスターを簡単かつ自動的に共有できるようにするフェアシェア スケジューリング。
- 複数の計算ノードでの分散トレーニングによりモデルトレーニング時間を高速化。
- ワークロードとリソースの使用状況を可視化し、ユーザーの生産性を向上。
- あらゆるタイプのGPUで複数のワークロードをシームレスに実行するGPU抽象化機能と、GPUプロビジョニングをサポート。



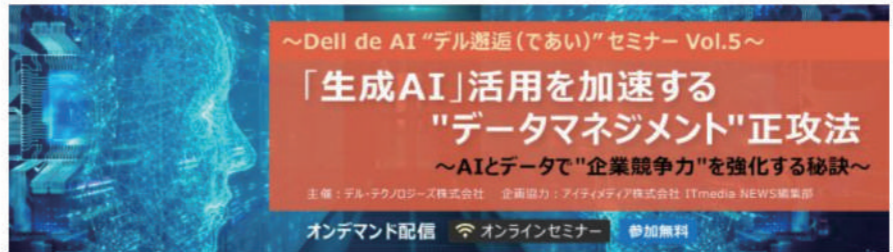
## 34 Dell de AIポータルサイトのご案内

「AIをビジネスで活用する」 — そう言い表すのは簡単です。しかし、組織にとって本当に価値のあるアクションへ落とし込むには、考えるべきことがあまりに多すぎます。誰に相談すればいいのかわ、どうすれば成果を生み出せるのか。「Dell de AI “デル邂逅(であい)”」は、そんな悩みを持つ企業や組織にポジティブな出会いや思いもよらぬうれしい発見 — 「Serendipity (セレンディピティ)」が生まれることを目指した情報発信ポータルです。



「AIをビジネスで活用する」 — そう言い表すのは簡単です。しかし、組織にとって本当に価値のあるアクションへ落とし込むには、考えるべきことがあまりに多すぎます。誰に相談すればいいのかわ、どうすれば成果を生み出せるのか。「Dell de AI “デル邂逅(であい)”」は、そんな悩みを持つ企業や組織にポジティブな出会いや思いもよらぬうれしい発見 — 「Serendipity (セレンディピティ)」が生まれることを目指した情報発信ポータルです。

### Dell de AI Webinar Vol.5



### 週間人気記事ランキング (期間: 2024/3/9 ~ 2024/3/15)

- 1 「生成AIの価値はデータで決まる」 成果につながる「データマネジメント」を6つのステップで解説
- 2 ChatGPTで「業務アプリ」作成に挑戦 プログラミングの工数削減につながるか? 新機能を使い倒してみた
- 3 独自LLM開発のサイバーエージェント “和製生成AI”で広告制作を効率化 性能を約5.14倍にしたGPUサーバーとは?
- 4 「生成AI」の“真価”を引き出すには? プロンプト公開! — 活用方法と注意点を編集部が解説
- 5 勝率2.6倍 — AIで“勝てる広告”を生むサイバーエージェント GPU基盤を“あえて自社開発” そのワケは?

### Dell de AI Webinar Vol.4



### AI導入で解決できる業種ごとの課題

### Dell de AIパートナー

- ITMF EARTH
- PKSHA
- MACNICA
- 株式会社アイエスピー
- COGENT LABS
- Cross Compass
- DataVehicle
- HACARUS
- 構造計画研究所
- LEAPMIND
- morpho
- Acroquest Technology
- AVINTON
- GAUSS
- SOFTFRONT
- SystemK

Dell de AIポータルサイトはこちら <https://www.itmedia.co.jp/news/special/bz211007/index.html>